



**The 32nd
Annual Meeting of
the Neurospinal Society of Japan
(The former Japanese Society of Spinal Surgery)**

Meeting Date June 8^(Thu) - 9^(Fri), 2017

..... **joint meeting**

ASIA SPINE

**The 8th
Annual Meeting of Asia Spine**

Meeting Date June 9^(Fri) - 10^(Sat), 2017

Division and Integration for the Future

Site **Osaka International Convention Center**
5-3-51 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005 JAPAN

President **Kenji Ohata**
Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine

Secretary-general
Toshihiro Takami
Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine
1-4-3 Asahi-machi, Abeno-ku, Osaka 545-8585, JAPAN

Japanese session

プログラム

6月8日(木) 第1日目

A会場

8:05 ~ 8:55 Scientific session 1

Craniovertebral junction 1

座長：久保田 基夫（亀田総合病院）
西川 節（守口生野記念病院）

A1-1 高齢者の頸椎歯突起骨折治療

岩瀬 正顕¹⁾、須山 武裕¹⁾、大重 英行¹⁾、山原 崇弘¹⁾、浅井 昭雄²⁾

¹⁾ 関西医科大学総合医療センター 脳神経外科、²⁾ 関西医科大学 脳神経外科学講座

A1-2 頭蓋頸椎移行部の固定術におけるピットフォールについて

佐々木 学¹⁾、梅垣 昌士¹⁾、田村 和義¹⁾、松本 勝美¹⁾、芝野 克彦¹⁾、木谷 知樹¹⁾、青木 正典²⁾
米延 策雄³⁾

¹⁾ 医誠会病院 脳神経外科・脊椎脊髄センター、²⁾ 行岡病院 脳神経外科、³⁾ 滋慶医療科学大学院大学

A1-3 歯突起後方偽腫瘍で脊髄症を呈した癒合椎と環椎頭蓋癒合合併の2症例

佐々木 伸洋、寶子丸 稔、福田 美雪、上田 茂雄、黒田 昌之、眞鍋 博明
信愛会脊椎脊髄センター 交野病院

A1-4 当院における歯突起後方偽腫瘍の放射線学的分析と術後経過

佐々木 夏一、花北 順哉、高橋 敏行、小柳 侑也、大竹 安史、南 学
藤枝平成記念病院

A1-5 頭蓋頸椎移行部固定術の変遷

青山 正寛、竹内 幹伸、上甲 眞宏、高安 正和
愛知医科大学 脳神経外科

A1-6 頭蓋底陥入症に対して後頭-頸椎後方除圧固定術を行った2例の検討

川口 匠、西岡 和哉、尾崎 充宣、中尾 直之
和歌山県立医科大学 脳神経外科

A1-7 頭蓋底陥入症に対する歯突起切除術

大西 諭一郎¹⁾、端山 昌樹²⁾、藤原 翔¹⁾、鷹羽 良平¹⁾、Diego Mazzatenta³⁾、貴島 晴彦¹⁾

¹⁾ 大阪大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 大阪大学 医学部 耳鼻咽喉科

³⁾ Institute of Neurological Sciences, Bologna

8:55 ~ 9:45 Scientific session 2

Pediatric spine-syringomyelia 1

座長：矢野 俊介（札幌麻生脳神経外科病院）
内藤 堅太郎（大阪市立大学）

A1-8 小児脊髄空洞症の多彩な原疾患とその治療への反応、自然経過について

安藤 亮、沼田 理、伊藤 千秋
千葉県こども病院 脳神経外科

- A1-9 Chiari I 型奇形の成因と外科治療：後頭蓋窩の形態的分析に基づいて**
西川 節¹⁾、Thomas Milhorat²⁾、Paolo Bolognese²⁾、生野 弘道¹⁾
¹⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科、²⁾ Department of Neurosurgery, North Shore University Hospital
- A1-10 キアリ1型奇形における Time-SLIP MRI での髄液動態に基づく手術適応**
大隣 辰哉、西原 伸治、大田 泰正、小山 素磨
脳神経センター大田記念病院 脊椎脊髄外科
- A1-11 キアリI型奇形による脊髄空洞症の術前後臨床症状の推移**
大橋 洋輝¹⁾、谷 諭¹⁾、磯島 晃²⁾、川村 大地¹⁾、大橋 聡¹⁾、村山 雄一¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学 脳神経外科、²⁾ 大森赤十字病院
- A1-12 キアリ奇形1型の治療と予後不良因子の検討**
富田 陽介¹⁾、安原 隆雄¹⁾、久壽米木 亮¹⁾、佐々田 晋¹⁾、豊嶋 敦彦¹⁾、守本 純¹⁾、馬越 通有¹⁾
金 恭平¹⁾、三好 康之²⁾、伊達 勲¹⁾
¹⁾ 岡山大学大学院 脳神経外科、²⁾ 川崎医科大学総合医療センター 脳神経外科
- A1-13 硬膜外層切除による大後頭孔減圧術の術後硬膜内層のくびれについて**
矢野 俊介¹⁾、飛驒 一利¹⁾、関 俊隆²⁾、笹森 徹²⁾、濱内 祝嗣¹⁾、重川 誠二¹⁾、斉藤 久寿¹⁾
¹⁾ 札幌麻生脳神経外科病院、²⁾ 北海道大学脳神経外科
- A1-14 小児脊髄空洞症合併キアリ1型奇形の大孔硬膜外層切除の治療成績**
内門 久明
医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック

9:45 ~ 10:30 Scientific session 3
Pediatric spine-syringomyelia 2

座長：井上 亨（福岡大学）
関 俊隆（北海道大学）

- A1-15 無症候性脊髄脂肪腫の早期手術と長期治療成績**
長坂 昌登
愛知県心身障害者コロニー中央病院 脳神経外科
- A1-16 潜在性二分脊椎症に伴う成人期脊髄係留症候群の臨床的特徴と手術成績**
内藤 堅太郎¹⁾、高見 俊宏¹⁾、山縣 徹²⁾、田上 雄大¹⁾、高 沙野¹⁾、大畑 建治¹⁾
¹⁾ 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科、²⁾ 大阪市立総合医療センター 脳神経外科
- A1-17 脊髄癒着性くも膜炎に続発した脊髄空洞症に対する空洞-腹腔短絡術**
高 沙野¹⁾、内藤 堅太郎¹⁾、高見 俊宏¹⁾、山縣 徹²⁾、田上 雄大¹⁾、渡部 祐輔¹⁾、大畑 建治¹⁾
¹⁾ 大阪市立大学 大学院 医学研究科 脳神経外科、²⁾ 大阪市立総合医療センター
- A1-18 小児環軸椎亜脱臼に対する Instrumentation を用いた後方矯正固定術**
西嶋 脩悟¹⁾、山縣 徹¹⁾、中西 勇太¹⁾、内藤 堅太郎²⁾、高見 俊宏²⁾、大畑 健治²⁾
¹⁾ 大阪市立総合医療センター、²⁾ 大阪市立大学
- A1-19 腰仙尾部皮膚異常は警鐘サイン（その1）腰非感染性と感染性皮膚洞の対比**
坂本 敬三
坂本小児脳神経外科研究所

A1-20 腰仙尾部皮膚異常は警鐘サイン（その2）脊髄脂肪腫の臨床的意義

坂本 敬三
坂本小児脳神経外科研究所

16:20 ~ 17:20 Scientific session 4

Spinal vascular lesions 1

座長：富永 悌二（東北大学病院）
高見 俊宏（大阪市立大学）

A1-21 脊髄硬膜動静脈瘻に対する外科的治療の検討

山本 優、後藤 正憲、寺田 幸恵、吉本 修也、箸方 宏州、三木 義仁、西田 南海子、多喜 純也
岩崎 孝一
公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 脳神経外科

A1-22 Type A Spinal epidural AVF 7例の検討および文献的考察

館澤 諒大^{1,2)}、長内 俊也²⁾、関 俊隆²⁾、笹森 徹²⁾、牛越 聡³⁾、飛驒 一利⁴⁾、浅野 剛²⁾
井須 豊彦¹⁾、寶金 清博²⁾
¹⁾ 釧路労災病院、²⁾ 北海道大学 脳神経外科、³⁾ 北海道医療センター、⁴⁾ 札幌麻生脳神経外科病院

A1-23 脊髄動静脈シャント疾患の診断と治療

大下 昇、志摩 秀広、大野 真知子、中溝 一允、定永 浩
下関医療センター脳神経外科

A1-24 特発性頸髄硬膜外血腫の診断と治療

角田 圭司¹⁾、松尾 孝之¹⁾、立石 洋平²⁾、辻野 彰²⁾
¹⁾ 長崎大学病院 脳神経外科、²⁾ 長崎大学病院 脳神経内科

A1-25 くも膜下出血治療後に脊髄症状を呈した残存脊髄血管奇形の手術例

赤塚 啓一¹⁾、坂本 誠²⁾、吉岡 裕樹²⁾、中島 定男²⁾、黒崎 雅道²⁾
¹⁾ 鳥取市立病院 脳神経外科、²⁾ 鳥取大学 医学部 脳神経外科

A1-26 Incidental spinal dural AVF の1例

光原 崇文¹⁾、山口 智¹⁾、武田 正明¹⁾、梶原 洋介²⁾、栗栖 薫¹⁾
¹⁾ 広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学、²⁾ 五日市記念病院 脳神経外科

A1-27 数日間で急速に進行した腰髄硬膜動静脈瘻の一例

堀田 和子、Srivatanakul Kittipong、青木 吏絵、松前 光紀
東海大学医学部 脳神経外科学

A1-28 頭蓋頸椎移行部動静脈瘻の5例

田中 雅彦¹⁾、権藤 学司¹⁾、渡辺 剛史¹⁾、遠藤 聡²⁾、山本 一徹¹⁾、田中 聡¹⁾、野田 尚志¹⁾
¹⁾ 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科、²⁾ 神奈川県立足柄上病院 脳神経外科

6月8日 (木) 第1日目

B会場

8:05 ~ 8:55 Scientific session 5

Spinal tumors 1

座長：甲村 英二 (神戸大学)

B1-1 頭蓋頸椎移行部腫瘍に対する外科治療戦略

佐々木 寿之、平 孝臣、川俣 貴一
東京女子医科大学 医学部 脳神経外科

B1-2 延髄腹側伸展を伴うダンベル型上位頸椎神経鞘腫に対する手術

三好 康之、谷口 美季、大西 学、目黒 俊成、小野 成紀
川崎医科大学総合医療センター 脳神経外科

B1-3 硬膜内髄外腫瘍に対する片側椎弓切除による腫瘍摘出術

藤原 翔、鷹羽 良平、大西 諭一郎、岩月 幸一、貴島 晴彦
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科

B1-4 当センターでの頸髄腫瘍13例の治療経験

福田 美雪、佐々木 伸洋、黒田 昌之、上田 茂雄、眞鍋 博明、寶子丸 稔
信愛会脊椎脊髄センター

B1-5 脊髄円錐・馬尾神経鞘腫における臨床的特徴と手術成績

長濱 篤文¹⁾、高見 俊宏¹⁾、内藤 堅太郎¹⁾、山縣 徹²⁾、大畑 建治¹⁾
¹⁾ 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科、²⁾ 大阪市立総合医療センター 脳神経外科

B1-6 脊椎脊髄砂時計型腫瘍の治外科的療方針

内門 久明¹⁾、服部 剛典²⁾、森岡 基浩²⁾
¹⁾ 医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック、²⁾ 久留米大学脳神経外科

B1-7 小児脊髄腫瘍の臨床像と治療結果

松阪 康弘、國廣 誉世、坂本 博昭
大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科

8:55 ~ 9:45 Scientific session 6

Spinal tumors 2

座長：田宮 隆 (香川大学)

B1-8 転移性脊椎、脊髄腫瘍150例の手術

高橋 立夫、須崎 法幸、大野 真佐輔、浅井 琢美、新帯 一憲、宮澤 卓真、安藤 遼、雄山 隆弘
梶田 泰一
国立病院機構名古屋医療センター 脳神経外科

B1-9 腰背部痛で来院した悪性脊椎腫瘍7症例の原発巣診断までの検討

隈元 真志¹⁾、溝田 新吾²⁾、大田 正流²⁾、古市 将司²⁾、野中 俊宏³⁾、橋本 哲³⁾、本家 秀文³⁾
¹⁾ 福岡記念病院 脊髄脊椎外科、²⁾ 福岡記念病院脳神経外科、³⁾ 福岡記念病院整形外科

- B1-10 転移性脊椎腫瘍に対する外科的治療がもたらすQOLの改善**
江口 馨、西村 由介、福岡 俊樹、栗屋 堯之、赤堀 翔、永島 吉孝、若林 俊彦
名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科
- B1-11 脊髄上衣腫手術における術中迅速病理診断の有用性の検討**
本郷 博貴¹⁾、高井 敬介¹⁾、小森 隆司²⁾、谷口 真¹⁾
¹⁾ 東京都立神経病院 脳神経外科、²⁾ 東京都立神経病院 病理検査科
- B1-12 診断に難渋する脊髄疾患に対する生検術の意義**
豊嶋 敦彦^{1,2)}、安原 隆雄²⁾、久壽米木 亮²⁾、馬越 道有²⁾、金 恭平²⁾、守本 純²⁾、伊達 勲²⁾
¹⁾ 香川県立中央病院 脳神経外科、²⁾ 岡山大学大学院 脳神経外科
- B1-13 脊髄血管芽腫に対する手術戦略**
吉岡 史隆、朝本 俊司、左村 和宏、櫻井 公典、中村 聡、河島 雅到
国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脳神経外科
- B1-14 脊髄血管芽腫に対する手術の実際と工夫**
佐藤 充、村田 英俊、田中 貴大、宮崎 良平
横浜市立大学脳神経外科

9:45 ~ 10:35 Scientific session 7
Cervical spine 1
座長：前島 貞裕 (国立病院埼玉病院)

- B1-15 頸椎前方除圧手術後、隣接椎間病変に対する頸椎前方除圧再手術のコツ**
北原 功雄、福田 直、鈴木 遼、米谷 博志
千葉徳洲会病院 脳神経外科
- B1-16 後弯変形を伴う頸椎変性疾患に対する椎体切除前方固定術**
佐藤 充、村田 英俊、田中 貴大、宮崎 良平
横浜市立大学脳神経外科
- B1-17 Anterior cervical foraminotomy による術後隣接椎間障害の長期成績**
大竹 安史^{1,2)}、花北 順哉¹⁾、高橋 敏行¹⁾、南 学¹⁾、佐々木 夏一¹⁾、小柳 侑也¹⁾、中村 博彦²⁾
¹⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター、²⁾ 中村記念病院
- B1-18 Titanium coated PEEK cage を使用した頸椎前方除圧固定術の短期成績**
青山 正寛、竹内 幹伸、上甲 眞宏、高安 正和
愛知医科大学 脳神経外科
- B1-19 チタンコーティングPEEK ケージを用いた頸椎前方固定術後の画像的検討**
永島 吉孝^{1,2)}、西村 由介²⁾、江口 馨²⁾、福岡 俊樹²⁾、栗屋 堯之²⁾、赤堀 翔²⁾、秦 誠宏¹⁾、若林 俊彦²⁾
¹⁾ さくら総合病院 脳神経外科、²⁾ 名古屋大学 脳神経外科
- B1-20 頸椎前方固定術におけるチタンコーティングPEEK ケージの使用経験**
飯田 隆昭¹⁾、山本 治郎¹⁾、塚田 剛史¹⁾、旭 雄士¹⁾、竹内 文彦¹⁾、田中 康規¹⁾、阿部 浩¹⁾、山本 信孝¹⁾、佐藤 秀次¹⁾、飯塚 秀明²⁾
¹⁾ 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院、²⁾ 金沢医科大学病院 脳神経外科

B1-21 頸椎前方除圧固定術におけるチタンコーティングPEEKケージの使用経験

北川 雄大¹⁾、大隣 辰哉²⁾、西原 伸治²⁾、大田 泰正²⁾、小山 素磨²⁾

¹⁾ 産業医科大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 脳神経センター大田記念病院 脊椎脊髄外科

10:35 ~ 11:25 Scientific session 8

Cervical spine 2

座長：湯口 貴導（湯口脳神経外科・脊髄外科）

B1-22 神経根性疼痛に頸椎前方除圧固定術を施行した症例の検討

大村 知久、田辺 英紀

田辺脳神経外科病院 脳神経外科

B1-23 円筒型チタン製ケージとkeyhole approachによる頸椎前方法の長期成績

松井 誠司¹⁾、瀬野 利太¹⁾、重川 誠二¹⁾、岩田 真治²⁾、秋田 進久³⁾

¹⁾ 愛媛大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 愛媛県立中央病院 脳神経外科、³⁾ 梶浦病院 脳神経外科

B1-24 ACDFでcageの違いは術後早期の固定性に影響を及ぼすか

深谷 宜央、中島 康博、梅林 大督、山本 優、原 政人

稲沢市民病院 脳神経外科

B1-25 固定不要の頸椎OPLL前方除圧術

伊勢田 恵一、高橋 健治、中島 正明

岡山済生会総合病院 脳神経外科

B1-26 偏在性後縦靱帯骨化症についての検討

都志 洋太、川添 琢磨、秋葉 大輔、呉屋 朝和

潤和会記念病院

B1-27 頸椎症性神経根症に対する経皮的内視鏡下頸椎椎間孔拡大術の治療経験

井上 智夫^{1,2)}、尾原 裕康¹⁾、鈴木 晋介²⁾、遠藤 俊毅³⁾、富田 禎之¹⁾、松岡 秀典¹⁾、菊池 奈穂子¹⁾
上之原 広司²⁾、富永 悌二⁴⁾、水野 順一¹⁾

¹⁾ 新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄末梢神経外科、²⁾ 仙台医療センター 脳神経外科

³⁾ 広南病院 脳神経外科、⁴⁾ 東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学分野

B1-28 頸椎病変に対する前方アプローチ顕微鏡下内側法について

譲原 雅人、高野 裕樹、竹林 研人、木原 一徳、橘 滋國、久保田 基夫

亀田総合病院 脊椎脊髄外科

14:50 ~ 15:40 Scientific session 9

Cervical spine 3

座長：角田 圭司（長崎大学病院）

B1-29 変形性頸椎症に対する最近10年間の手術

野地 雅人、遠藤 聡、稲垣 浩

神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院 脳神経外科

- B1-30 頸椎後縦靱帯骨化症に対する治療成績**
 中村 歩希¹⁾、工藤 忠²⁾、大久保 信治³⁾、池田 哲也¹⁾、和久井 大輔¹⁾、小野寺 英孝¹⁾
 榊原 陽太郎¹⁾、小林 博雄²⁾、田口 芳雄¹⁾
¹⁾ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 脳神経外科、²⁾ 石岡循環器科脳神経外科病院 脳神経外科
³⁾ おおくぼ脳脊椎クリニック
- B1-31 頸椎後縦靱帯骨化症に対する open-door manner による頸部脊柱管拡大術**
 伊藤 康信、沼澤 真一、佐藤 光、渡邊 貞義
 医療法人財団 健貢会 総合東京病院 脳神経外科・脊椎脊髄センター
- B1-32 頸椎椎弓形成術の術式選択 一片開き法か両開き法か**
 水野 正喜、倉石 慶太、鈴木 秀謙
 三重大学 大学院医学系研究科 脳神経外科
- B1-33 Laminoplasty Basket を用いた頸椎椎弓形成術における当院の中期成績**
 川村 大地、谷 諭、大橋 聡、大橋 洋輝、村山 雄一
 東京慈恵会医科大学 脳神経外科
- B1-34 チタン製 laminoplasty basket を用いた頸椎椎弓形成術の工夫**
 松岡 秀典¹⁾、尾原 裕康¹⁾、富田 禎之¹⁾、菊地 奈穂子¹⁾、水野 順一¹⁾、渡邊 一夫²⁾
¹⁾ 三成会 新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄末梢神経外科
²⁾ 財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 脳神経外科
- B1-35 頸椎硬膜内腫瘍切除後の Lift-up 式バスケット椎弓形成術の報告**
 城阪 佳佑¹⁾、高見 俊宏¹⁾、内藤 堅太郎¹⁾、山縣 徹²⁾、大畑 建治¹⁾
¹⁾ 大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科、²⁾ 大阪市立総合医療センター 脳神経外科

15:40 ~ 16:30 Scientific session 10
Cervical spine 4
 座長：川本 俊樹（東京通信病院）

- B1-36 配向連通多孔体人工骨による頸部骨形成的脊柱管拡大術 40 例の経験**
 高橋 立夫、須崎 法幸、大野 真佐輔、浅井 琢美、新帯 一憲、宮澤 卓真、雄山 隆広、梶田 泰一
 国立病院機構名古屋医療センター 脳神経外科
- B1-37 両開き式椎弓形成術における軸性疼痛、C5麻痺予防に対する取り組み**
 粟屋 堯之、西村 由介、福岡 俊樹、江口 馨、若林 俊彦
 名古屋大学 医学部 脳神経外科
- B1-38 C2棘突起着筋完全温存とC3椎弓切除:椎弓形成術後配列への影響**
 伊勢田 恵一、高橋 健治、中島 正明
 岡山済生会総合病院 脳神経外科
- B1-39 靱帯・筋付着部の温存を意識した小切開頸椎椎弓形成術の初期治療成績**
 後藤 浩之¹⁾、西川 節²⁾、城戸崎 祐介²⁾、大畑 裕紀¹⁾、長濱 篤文²⁾、宇田 裕史²⁾、高沙野¹⁾
 高見 俊宏¹⁾、大畑 建治¹⁾、生野 弘道²⁾
¹⁾ 大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科、²⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科

- B1-40 頸椎椎弓形成術後手術部位感染**
井上 崇文
社会医療法人財団池友会福岡和白病院 脊椎脊椎外科
- B1-41 脊椎脊髄疾患に対する再手術**
安原 隆雄、久壽米木 亮、富田 陽介、馬越 通有、金 恭平、守本 純、豊嶋 敦彦、佐々田 晋
伊達 勲
岡山大学大学院 脳神経外科
- B1-42 頸椎後方除圧術後の頸椎前方後方固定術についての検討**
佐々木 伸洋、寶子丸 稔、福田 美雪、上田 茂雄、黒田 昌之、真鍋 博明
信愛会脊椎脊髄センター 交野病院

16:30 ~ 17:20 Scientific session 11
Cervical spine 5

座長：今栄 信治（いまえクリニック）

- B1-43 チタン製スペーサーを用いた椎弓形成術～中期的フォローから**
木暮 一成¹⁾、井須 豊彦³⁾、森田 明夫²⁾
¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科、²⁾ 日本医科大学 脳神経外科、³⁾ 釧路労災病院 脳神経外科
- B1-44 頸椎椎弓形成術術後の機能評価の経時的推移と患者満足度の検討**
真鍋 博明、福田 美雪、佐々木 伸洋、黒田 昌之、上田 茂雄、寶子丸 稔
信愛会 脊椎脊髄センター
- B1-45 上位頸椎後方固定術における低侵襲手術：C3後方スクリュー挿入法**
五島 久陽、野村 貞宏、末廣 栄一、鈴木 倫保
山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学分野
- B1-46 頸椎椎弓形成術後に生じた遅発性C7麻痺について**
渡辺 一良、谷本 匡浩、田中 敏樹
公立甲賀病院 脳神経外科
- B1-47 頸部ジストニアと頸椎症の合併例に対する外科的治療の2例**
尾市 雄輝¹⁾、西田 南海子²⁾、岡田 明大¹⁾、宮腰 明典¹⁾、岩崎 孝一²⁾、戸田 弘紀^{1,2)}
¹⁾ 福井赤十字病院 脳神経外科、²⁾ 田附興風会医学研究所北野病院 脳神経外科
- B1-48 首下がり症候群に対する外科治療における後方固定の範囲**
光山 哲滝、梅林 猛、大田 快児
品川志匠会病院
- B1-49 Dropped head syndrome with chin-on-chest deformity**
中島 正明、伊勢田 恵一、高橋 健治
岡山済生会総合病院 脳神経外科

6月8日 (木) 第1日目

C会場

8:05 ~ 8:55

Scientific session 12

Aging spine 1

座長：山縣 徹 (大阪市立総合医療センター)

C1-1 高齢者に対する頸椎手術：治療選択、術前後管理における注意点

城戸崎 裕介¹⁾、西川 節¹⁾、西原 正訓²⁾、正村 清弥¹⁾、後藤 浩之³⁾、長濱 篤文¹⁾、宇田 裕史¹⁾
生野 弘道¹⁾

¹⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科、²⁾ 守口生野記念病院 救急科、³⁾ 大阪市立大学院大学 脳神経外科

C1-2 高齢頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術：メタ解析から考える手術戦略

竹島 靖浩、松岡 龍太、高村 慶旭、西村 文彦、中川 一郎、本山 靖、朴 永銖、中瀬 裕之
奈良県立医科大学 脳神経外科

C1-3 80歳以上の高齢者脊椎変性疾患の治療成績

平澤 元浩、萩原 信司、谷 茂、笹原 篤、米山 琢、大淵 英徳、黒井 康博、稲塚 万佑子、山崎 圭
糟谷 英俊

東京女子医科大学 東医療センター 脳神経外科

C1-4 後期高齢者の非骨傷性頸髄損傷に対する積極的急性期除圧手術

山本 慎司、大西 英之、久我 純弘、兒玉 裕司、林 真人、大西 宏之、高橋 賢吉、佐藤 文哉
大西脳神経外科病院 脳神経外科

C1-5 75歳以上の患者の疼痛コントロールのためのinterventionとsurgery.

南 学¹⁾、花北 順哉¹⁾、高橋 敏行¹⁾、大竹 安史¹⁾、佐々木 夏一¹⁾、小柳 祐也¹⁾、北浜 義博²⁾

¹⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター、²⁾ 市立御前崎総合病院 脊椎センター

C1-6 腰椎変性疾患において局所側弯が神経症状発現に与える影響について

北山 真理¹⁾、今栄 信治²⁾、三木 潤一郎¹⁾、廣鱈 洋子¹⁾、仲 寛¹⁾

¹⁾ 済生会和歌山病院 脳神経外科、²⁾ いまえクリニック

C1-7 Raczカテーテルを使用した経仙骨裂孔硬膜外神経形成術

中島 良夫¹⁾、木谷 隆一¹⁾、得田 和彦¹⁾、宇野 豪洋¹⁾、久保 雅寛²⁾

¹⁾ 富山労災病院 脳神経外科、²⁾ 富山労災病院 神経内科

8:55 ~ 9:45

Scientific session 13

Aging spine 2

座長：平野 仁崇 (総合南東北病院)

C1-8 高齢者腰椎変性疾患に対する手術戦略

中島 正明、伊勢田 恵一、高橋 健治

岡山済生会総合病院 脳神経外科

C1-9 超高齢者 (90歳以上) における脊椎手術症例の検討

田中 達也¹⁾、桃崎 宣明¹⁾、後藤 公文²⁾、本田 英一郎³⁾

¹⁾ 伊万里有田共立病院 脳神経外科、²⁾ 伊万里有田共立病院 神経内科、³⁾ 白石共立病院 脳神経脊髄外科

- C1-10 75歳以上の高齢者における椎間板ヘルニアの分析**
 小柳 侑也¹⁾、花北 順哉²⁾、高橋 敏行²⁾、南 学²⁾、大竹 安史²⁾、尾市 雄輝³⁾、佐々木 夏一²⁾
¹⁾ 社会医療法人 製鉄記念八幡病院 脳卒中・神経センター、²⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター
³⁾ 福井赤十字病院 脳神経外科
- C1-11 胸椎黄色靭帯骨化症の治療と成因に関する検討**
 大畑 裕紀¹⁾²⁾、西川 節²⁾、正村 清弥²⁾、後藤 浩之¹⁾、城阪 佳佑¹⁾、長濱 篤文¹⁾、宇田 裕史²⁾
 生野 弘道²⁾、大畑 建治¹⁾
¹⁾ 大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科、²⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科
- C1-12 当院及び手術関連病院における脊椎術後SSIについての検討**
 宮尾 泰慶¹⁾、佐々木 学²⁾、梅垣 昌士²⁾、田村 和義²⁾、中津 大輔¹⁾、嶋田 延光¹⁾
¹⁾ 市立吹田市民病院 脳神経外科、²⁾ 医誠会病院 脊椎脊髄センター
- C1-13 腰痛・腰下肢痛を主症状とする腰椎疾患・腰椎周辺疾患の治療成績**
 松本 順太郎¹⁾、井須 豊彦¹⁾、金 景成²⁾、岩本 直高³⁾、山崎 和義¹⁾、磯部 正則¹⁾
¹⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科、³⁾ 帝京大学医学部 脳神経外科
- C1-14 L5/S1 椎間孔狭窄の治療成績**
 倉石 慶太、水野 正喜、鈴木 秀謙
 三重大学 医学部 脳神経外科

9:45 ~ 10:35

Scientific session 14

Aging spine 3

座長：尾原 裕康（新百合ヶ丘総合病院）

- C1-15 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮スクリューを用いた多椎間固定術**
 渡辺 剛史、榎藤 学司、田中 雅彦、山本 一徹、田中 聡、野田 尚志
 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科
- C1-16 後方固定術の適応になり得る胸腰椎圧迫骨折の経皮的椎体形成術施行例**
 岡崎 敏之、中川 洋、早瀬 仁志、齋藤 孝次
 釧路孝仁会記念病院 脳・脊髄脊椎センター
- C1-17 腰部脊柱管狭窄症に新規の骨粗鬆症性椎体骨折を合併した症例の治療方針**
 山本 優、原 政人、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央
 稲沢市民病院 脳神経外科
- C1-18 対麻痺をともなった骨粗鬆症性胸椎椎体骨折に対する当院の治療方針**
 梅田 靖之、深澤 恵児、山本 章貴、亀井 裕介、田代 晴彦
 三重県立総合医療センター 脳神経外科
- C1-19 骨粗鬆症性椎体骨折への抜釘を行う経皮的椎体形成と後方固定術**
 中島 康博、原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央
 稲沢市民病院 脳神経外科
- C1-20 椎体骨折治療戦略：中央椎体高維持の重要性と注意すべきMRI所見**
 二宮 貢士、芝本 和則
 笹生病院 脳神経外科

C1-21 有限要素法による椎体骨折の予後予測 圧潰する骨折、しない骨折

梅林 大督^{1,2)}、深谷 宜央¹⁾、山本 優¹⁾、中島 康博¹⁾、原 政人¹⁾

¹⁾ 稲沢市民病院 脳神経外科、²⁾ 京都府立医科大学 脳神経外科

10:35 ~ 11:35 Scientific session 15
Lumbar spine 1
座長：朝本 俊司（三田病院）

C1-22 トルク値によるCBT法のpedicle screw至適刺入経路の検討

藤原 翔、鷹羽 良平、大西 諭一郎、岩月 幸一、貴島 晴彦

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科

C1-23 腰椎変性すべり症におけるCBT法と従来法PLIFの初期固定性の比較

二宮 貢士¹⁾、芝本 和則¹⁾、岩月 幸一²⁾、大西 諭一郎²⁾、鷹羽 良平²⁾、藤原 翔²⁾

¹⁾ 笹生病院 脳神経外科、²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

C1-24 低侵襲腰椎椎体間固定術後隣接椎間障害 再手術となる危険因子の検討

深谷 賢司¹⁾、長谷川 光広²⁾、白土 充³⁾

¹⁾ 綾部ルネス病院 脳神経外科、²⁾ 藤田保健衛生大学 脳神経外科、³⁾ 舞鶴医療センター 脳神経外科

C1-25 腸骨の部分切除を併用した、L5/S1椎間孔狭窄に対する外側開窓術

芳村 憲泰、鶴藪 浩一郎、呉村 有紀、中村 洋平、梶川 隆一郎、永島 宗紀、山田 直明、若山 暁

大阪脳神経外科病院 脳神経外科

C1-26 局所麻酔下でのPELDが必須であった3症例

妹尾 誠、佐藤 司、西谷 幹雄

函館脳神経外科病院 脳神経外科

C1-27 硬膜外内視鏡による難治性腰痛の治療

熊井 惟志、井上 辰志、服部 夏樹、廣瀬 雄一

藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科

C1-28 脊髄造影検査における合併症頻度からその侵襲性を検証する

井上 崇文

社会医療法人財団池友会福岡和白病院 脊椎脊椎外科

C1-29 ハイドロキシアパタイトブロックを用いた椎体形成術、低侵襲化の変遷

西岡 和哉、川口 匠、尾崎 充宣、中尾 直之

和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科

14:50 ~ 15:40 Scientific session 16
Lumbar spine 2
 座長：内門 久明（うちかど脳神経外科クリニック）

- C1-30 腰椎疾患を有した腰椎周辺疾患への治療成績**
 岩本 直高¹⁾、井須 豊彦²⁾、金 景成³⁾、森本 大二郎⁴⁾、國保 倫子³⁾、松本 順太郎²⁾、山内 朋裕²⁾
 磯部 正則²⁾、松野 彰¹⁾
¹⁾ 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科、²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科
³⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科、⁴⁾ 日本医科大学付属病院 脳神経外科

- C1-31 腰椎変性疾患における残尿量測定**
 大竹 安史^{1,2)}、花北 順哉¹⁾、高橋 敏行¹⁾、南 学¹⁾、佐々木 夏一¹⁾、小柳 侑也¹⁾、中村 博彦²⁾
 上野 学³⁾
¹⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター、²⁾ 中村記念病院、³⁾ 藤枝平成記念病院 泌尿器科

- C1-32 低侵襲腰椎椎弓切除術の現状と将来展望**
 左村 和宏、朝本 俊司、吉岡 史隆、櫻井 公典、中村 聡、河島 雅到
 国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脳神経外科

- C1-33 腰部脊柱管狭窄症に対する椎弓除圧術後の腰痛と腰椎周辺疾患の変化**
 山内 朋裕¹⁾、井須 豊彦¹⁾、金 景成²⁾、松本 順太郎¹⁾、山崎 和義¹⁾、館澤 諒大¹⁾、磯部 正則¹⁾
¹⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター

- C1-34 すべりを伴う腰部脊柱管狭窄症に対する除圧例の長期成績（5年以上）**
 伊藤 圭介、長張 浩昌、金城 純人、伊志嶺 洋平、藤田 聡、武者 芳朗
 東邦大学医療センター大橋病院 脊椎脊髄センター

- C1-35 腰椎圧迫骨折合併患者への他部位腰椎疾患 PLIF 治療**
 栗林 厚介
 藍の都脳神経外科病院 脊椎・脊髄センター

- C1-36 ロッド破損ハイリスク症例に対する multi-rods 法を用いた後方固定術**
 竹林 研人、久保田 基夫、高野 裕樹、木原 一徳、譲原 雅人、橋 滋國
 亀田総合病院 脊椎脊髄外科

15:40 ~ 16:30 Scientific session 17
Lumbar spine 3
 座長：光山 哲滝（品川志匠会病院）

- C1-37 OLIF を安全に施行するための工夫**
 早瀬 仁志¹⁾、中川 洋¹⁾、金子 高久²⁾、岡崎 敏之¹⁾、齋藤 孝次¹⁾
¹⁾ 社会医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科
²⁾ 社会医療法人 孝仁会 北海道大野記念病院 整形外科

- C1-38 腰椎側方固定術 (OLIF) を用いた治療戦略**
 深谷 賢司¹⁾、長谷川 光広²⁾、白土 充³⁾、石上 文隆⁴⁾
¹⁾ 綾部ルネス病院 脳神経外科、²⁾ 藤田保健衛生大学 脳神経外科、³⁾ 舞鶴医療センター
⁴⁾ 綾部ルネス病院 外科

- C1-39 成人脊柱変形に対するLIF+PPSによる腰椎前弯化**
中島 康博、原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央
稲沢市民病院 脳神経外科
- C1-40 腰椎変性側弯症・後弯症に対する手術戦略**
宮脇 真理¹⁾、中島 正明²⁾、伊勢田 恵一²⁾、高橋 健治²⁾
¹⁾ 岡山済生会総合病院 初期臨床研修医、²⁾ 岡山済生会総合病院 脳神経外科
- C1-41 L5/S椎間孔病変に対する低侵襲的mini-ALIFによる手術戦略**
森本 哲也、南 茂憲、長友 康、榊 壽右
高清会高井病院 脳神経外科
- C1-42 脊髄硬膜外膿瘍—手術を要した3症例からの考察—**
富井 雅人、水野 順一、風間 健、松島 忠夫
社会医療法人 将道会 総合南東北病院 脳神経外科
- C1-43 脳神経外科における脊椎脊髄手術教育の現状と課題**
秋山 雅彦^{1,2)}、谷 諭²⁾、渡邊 水樹²⁾、安田 宗義²⁾、金 景成²⁾、佐々木 学²⁾、久保田 基夫²⁾
鈴木 晋介²⁾
¹⁾ 札幌禎心会病院 脊椎・脊髄末梢神経センター、²⁾ 日本脊髄外科学会 広報委員会

16:30 ~ 17:20 Scientific session 18
Cervical spine 6

座長：水野 正喜（三重大学）

- C1-44 頸椎黄色靭帯石灰化症の臨床像、画像所見、病理所見、成因の検討**
宇田 裕史¹⁾、城戸崎 裕介¹⁾、西原 正訓¹⁾、正村 清弥¹⁾、後藤 浩之²⁾、中西 勇太³⁾、大畑 裕紀¹⁾
川嶋 俊幸¹⁾、長濱 篤文³⁾、生野 弘道¹⁾
¹⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科、²⁾ 大阪市立大学医学部付属病院 脳神経外科
³⁾ 大阪市立総合医療センター 脳神経外科
- C1-45 頸神経根の微少循環動態変化**
竹内 幹伸、青山 正寛、川口 礼雄、伊佐治 泰己、上甲 眞宏、高安 正和
愛知医科大学
- C1-46 MRI での高信号域を認めない頸髄損傷について**
山上 達人、箕輪 哲也、武内 重二、牛渡 一盛、水田 晶子、中野 博美
京都きづ川病院 脳卒中・神経疾患センター 脳神経外科
- C1-47 頸髄症においてみられる下肢異常感覚の臨床的意義**
宮崎 良平、村田 英俊、田中 貴大、佐藤 充、中村 大志、末永 潤、立石 健祐
横浜市立大学 脳神経外科
- C1-48 上肢挙上障害を呈した頸椎変性疾患40例の検討**
川内 豪^{1,2)}、花北 順哉²⁾、高橋 敏行²⁾、南 学²⁾、大竹 安史²⁾、尾市 雄輝^{1,2)}
¹⁾ 福井赤十字病院 脳神経外科、²⁾ 藤枝平成記念病院

C1-49 当施設における頸椎椎体周囲炎の治療経験

佐藤 英俊、下川 宣幸、城阪 佳佑、中川 智弘、塚崎 裕司、夫 由彦
ツカザキ病院 脳神経外科

C1-50 チタンコーティングPEEKケージを用いた頸椎前方除圧固定術の初期成績

中西 勇太^{1,2)}、山縣 徹³⁾、内藤 堅太郎¹⁾、吉村 政樹⁴⁾、高見 俊宏¹⁾、大畑 建治¹⁾

¹⁾ 大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科、²⁾ 守口生野記念病院 脳神経外科

³⁾ 大阪市立総合医療センター 脳神経外科、⁴⁾ 八尾徳洲会総合病院 脳神経外科

6月8日 (木) 第1日目
第1・2ポスター会場

13:40 ~ 14:40 Poster session 1
Cervical spine 1

座長：竹島 靖浩 (奈良県立医科大学)

- P1-1 大孔部腫瘍の手術における後脊髄動脈温存について
松原 年生、石垣 共基、鈴木 秀謙
三重大学 医学部 脳神経外科
- P1-2 局所筋膜を用いた大孔減圧術-治療成績と後頭蓋窩の経時的拡大-
竹島 靖浩、松岡 龍太、高村 慶旭、西村 文彦、中川 一郎、本山 靖、朴 永銖、中瀬 裕之
奈良県立医科大学 脳神経外科
- P1-3 高齢者歯突起骨折例に対する外科治療
服部 剛典¹⁾、山本 真文¹⁾、土井 亮²⁾、宮原 孝寛³⁾、内門 久明⁴⁾、森岡 基浩¹⁾
¹⁾ 久留米大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 敬愛会 中頭病院、³⁾ 公立八女総合病院
⁴⁾ うちかど脳神経外科クリニック
- P1-4 高齢者における転位を伴う軸椎骨折の手術アウトカムに関する検討
木原 一徳、久保田 基夫、高野 裕樹、竹林 研人、譲原 雅人、橘 滋國
亀田総合病院 脊椎脊髄外科
- P1-5 大後頭孔減圧術が奏功したびまん性脳腫脹を伴うキアリ1型奇形の1例
福岡 俊樹、西村 由介、江口 馨、吉川 哲史、栗屋 堯之、若林 俊彦
名古屋大学 脳神経外科
- P1-6 頰椎前方固定術後に前方プレートの脱転を来し、治療に難渋した一例
高山 柄哲、杉田 義人、吉岡 奈央、横山 洋平、林 英樹
大津市民病院 脳神経外科
- P1-7 頰髄硬膜内髄外に発生した Multiple Meningeal Melanocytoma の一例
山本 真文¹⁾、音琴 哲也¹⁾、服部 剛典¹⁾、三好 淳子²⁾、小牧 哲²⁾、中島 慎治¹⁾、宮城 尚久¹⁾
杉田 保雄²⁾、森岡 基浩¹⁾
¹⁾ 久留米大学 脳神経外科学講座、²⁾ 久留米大学 病理学講座
- P1-8 頰椎疾患術後頰椎カラーの改良 (K-collar2) によるADL改善
木原 俊壺、小泉 徹
医療法人社団 親和会 京都脊椎脊髄外科・眼科病院

13:40 ~ 14:40 Poster session 2
Cervical spine 2

座長：菅原 淳 (岩手医科大学)

- P1-9 頰胸椎椎間孔に発生した髄膜腫の一例
宮岡 嘉就¹⁾、新田 純平¹⁾、中村 卓也¹⁾、小林 聰¹⁾、伊東 清志²⁾、本郷 一博²⁾
¹⁾ 小林脳神経外科病院、²⁾ 信州大学 脳神経外科

- P1-10 頸椎椎間関節片側脱臼骨折を受傷した脳外科医の治療経過と臨床経過**
 福田 直¹⁾、鈴木 遼¹⁾、小林 信介²⁾、北原 功雄¹⁾
¹⁾ 千葉徳洲会病院 脳神経外科、²⁾ 上野毛脳神経外科クリニック
- P1-11 高齢者の圧迫性脊髄症に対する術後の歩行改善**
 菅原 淳¹⁾、石垣 大哉^{1,2)}、藤原 俊朗¹⁾、井須 豊彦³⁾、小笠原 邦昭¹⁾
¹⁾ 岩手医科大学 医学部 脳神経外科、²⁾ かつの厚生病院 脳神経外科、³⁾ 釧路労災病院 脳神経外科
- P1-12 頸椎前方除圧固定術に対する Mecta-C TiPEEK ケージの使用経験**
 安藤 遼、高橋 立夫、雄山 隆弘、宮澤 卓真、新帯 一憲、浅井 琢美、大野 真佐輔、須崎 法幸
 梶田 泰一
 独立行政法人 病院機構 名古屋医療センター
- P1-13 前方除圧を要した頸椎前縦靭帯骨化症の治療経験**
 松岡 秀典¹⁾、尾原 裕康¹⁾、富田 禎之¹⁾、菊地 奈穂子¹⁾、水野 順一¹⁾、渡邊 一夫²⁾
¹⁾ 三成会 新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄末梢神経外科
²⁾ 財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 脳神経外科
- P1-14 頸椎椎体亜全摘出固定術後2ヶ月後に発症したC5(C6)麻痺の1症例**
 前田 充秀¹⁾、内門 久明²⁾
¹⁾ 済生会福岡総合病院 脳神経外科、²⁾ 医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック
- P1-15 ラット頸椎症性脊髄症モデルに対するエリスロポエチンの効果：第1報**
 田中 貴大¹⁾、村田 英俊¹⁾、佐藤 充¹⁾、善積 哲也¹⁾、宮崎 良平¹⁾、立石 健祐¹⁾、金 彪²⁾
¹⁾ 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学、²⁾ 獨協医科大学 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 3
 Lumbar spine 1

座長：隈元 真志（福岡記念病院）

- P1-16 椎弓切除・椎弓形成で対応した椎間板ヘルニア症例の術後経過の検討**
 小柳 侑也¹⁾、花北 順哉²⁾、高橋 敏行²⁾、南 学²⁾、大竹 安史²⁾、佐々木 夏一²⁾
¹⁾ 社会医療法人 製鉄記念八幡病院 脳卒中・神経センター、²⁾ 藤枝平成記念病院 脊椎脊椎疾患治療センター
- P1-17 腰椎椎間関節異形成2症例の手術経験**
 櫻井 公典^{1,2)}、朝本 俊司^{1,2)}、中村 聡²⁾、佐村 和宏¹⁾、吉岡 史隆¹⁾、河島 雅到¹⁾
¹⁾ 国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脳神経外科、²⁾ 国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脊椎脊髄センター
- P1-18 腰部脊柱管狭窄症に対する除圧術後に、馬尾ヘルニアをきたした一例**
 亀井 裕介、梅田 靖之、深澤 恵児
 三重県立総合医療センター 脳神経外科
- P1-19 当院における過去10年間の腰椎再手術症例の検討**
 伊藤 裕、川西 昌浩、杉江 亮、山田 誠、横山 邦生、田中 秀一
 医仁会 武田総合病院
- P1-20 古典的LaminectomyとInter foraminotomyの違いについて**
 中村 聡¹⁾、櫻井 公典^{1,2)}、朝本 俊司^{1,2)}、左村 和宏²⁾、吉岡 史隆²⁾、河島 雅到²⁾
¹⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脊椎脊髄センター、²⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脳神経外科

P1-21 筋層構築的棘突起椎弓形成術による腰椎すべり症の治療成績

米澤 元樹¹⁾、黒川 龍¹⁾、糸岐 一茂¹⁾、新郷 哲郎¹⁾、川本 俊樹²⁾、金 彪¹⁾
¹⁾ 獨協医科大学病院 脳神経外科、²⁾ 東京通信病院 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 4
Lumbar spine 2
座長：高石 吉将（慈恵会新須磨病院）

P1-22 左右で異なるアプローチを行った上方変位型腰椎椎間板ヘルニアの一例

宮尾 泰慶¹⁾、佐々木 学²⁾、中津 大輔¹⁾、嶋田 延光¹⁾
¹⁾ 市立吹田市民病院 脳神経外科、²⁾ 医誠会病院 脊椎脊髄センター

P1-23 下垂足を来した腰椎疾患の治療成績

高石 吉将¹⁾、鈴木 壽彦¹⁾、近藤 威¹⁾、千葉 義幸¹⁾、山下 俊輔¹⁾、甲村 英二²⁾
¹⁾ 慈恵会新須磨病院 脳神経外科、²⁾ 神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座

P1-24 腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲除圧術

東山 巨樹¹⁾、菅原 卓¹⁾、遠藤 拓朗²⁾、前田 匡輝²⁾、古谷 伸春²⁾、吉川 剛平²⁾、吉田 泰之²⁾
 師井 淳太²⁾、石川 達哉²⁾
¹⁾ 秋田県立脳血管研究センター 脊髄脊椎外科、²⁾ 秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科

P1-25 腰椎再手術における低侵襲椎体間固定術の治療成績

高橋 雄一¹⁾、土方 保和¹⁾、佐々田 晋¹⁾、広田 健吾¹⁾、岡元 彰平¹⁾、西田 憲記²⁾
¹⁾ 新小文字病院 脊髄脊椎外科治療センター、²⁾ 新武雄病院 脊髄脊椎外科

P1-26 腰椎椎間固定術は低侵襲化によりを向上させる

林 英樹、横山 洋平、高山 柄哲
 大津市民病院 脳神経外科

P1-27 腰椎分離症における神経根除圧の臨床的検討

吉田 耕一郎、山本 康洋、庄田 基
 八千代病院 脊椎脊髄疾患センター

13:40 ~ 14:40 Poster session 5
Lumbar spine 3
座長：北山 真理（済生会和歌山病院）

P1-28 腰椎疾患術後患者の6分間歩行の長期観察の有用性

米花 沙代¹⁾、岩崎 素之²⁾、佐藤 耕司¹⁾、遠藤 智康¹⁾
¹⁾ 小樽市立病院 リハビリテーション科、²⁾ 小樽市立病院 脳神経外科

P1-29 INTER FIX ケージを用いたPLIFにおける骨癒合評価および手術成績

山本 康洋、吉田 耕一郎、庄田 基
 財団新和会 八千代病院 脳神経外科

P1-30 Venous hypertensive myelopathy をきたした第一腰椎後縦靭帯骨化症

三島 弘之、関口 徳朗、土屋 雄介、鈴木 幸二、前田 昌宏、綾部 純一、田中 良英
 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

P1-31 腰部脊柱管内における骨化・石灰化性病変の形態と臨床所見との関連

船井 三規子、安田 宗義、白坂 暢朗、伊藤 圭佑、根来 眞、宮崎 章宏
一宮西病院 脳神経外科

P1-32 腰部脊柱管狭窄症は歩行の安定性、調和性を乱す

尾崎 充宣、西岡 和哉、川口 匠、小倉 光博、中尾 直之
和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 6

Peripheral nerve

座長：大隣 辰哉（脳神経センター大田記念病院）

P1-33 難治性腰痛症例に対する上殿皮神経障害の治療経験

石垣 大哉^{1,2)}、菅原 淳¹⁾、笹生 昌之²⁾、井須 豊彦³⁾、小笠原 邦昭¹⁾
¹⁾ 岩手医科大学 脳神経外科、²⁾ JA 秋田厚生連 かづの厚生病院 脳神経外科、³⁾ 釧路労災病院 脳神経外科

P1-34 外側大腿皮神経障害の外科的治療成績

森本 大二郎¹⁾、金 景成²⁾、喜多村 孝雄¹⁾、國保 倫子²⁾、松本 順太郎³⁾、井須 豊彦³⁾、岩本 直高⁴⁾
森田 明夫¹⁾
¹⁾ 日本医科大学 脳神経外科、²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター
³⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、⁴⁾ 帝京大学 脳神経外科

P1-35 浅腓骨神経障害に対する誘発試験の検討

松本 順太郎¹⁾、井須 豊彦¹⁾、金 景成²⁾、岩本 直高³⁾、山崎 和義¹⁾、磯部 正則¹⁾
¹⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科、³⁾ 帝京大学医学部 脳神経外科

P1-36 足根管症候群に対するMRI撮影に関する検討

成合 倫典¹⁾、金 景成^{1,2)}、河内 雅章¹⁾、石井 彰宏¹⁾、木戸 美佐¹⁾、井須 豊彦³⁾、國保 倫子²⁾
森本 大二郎⁴⁾、岩本 直高⁵⁾、森田 明夫⁴⁾
¹⁾ 千葉新都市ラーバンククリニック、²⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター
³⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、⁴⁾ 日本医科大学 脳神経外科、⁵⁾ 帝京大学 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 7

Tumor 1

座長：深尾 繁治（京都岡本記念病院）

P1-37 "ginkgo leaf sign" を呈した胸椎髄膜腫の1例

高村 慶旭、竹島 靖浩、松岡 龍太、朴 永銖、中瀬 裕之
奈良県立医科大学 脳神経外科

P1-38 当院での脊椎腫瘍5症例の治療戦略

上坂 十四夫、前原 直喜、松角 宏一郎
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 脳神経外科

P1-39 腫瘍内出血を伴ったmelanotic schwannomaの1例

重川 誠二、飛驒 一利、濱内 祝嗣、矢野 俊介
札幌麻生脳神経外科病院

- P1-40 頸髄炎症性偽腫瘍の一例**
大西 晃平、内田 晋、川崎 ゆかり、豊国 公子、松田 浩幸、森重 真毅、藤木 稔
大分大学 医学部 脳神経外科学講座
- P1-41 脊髄原発Ewing肉腫の1例**
田村 晋也¹⁾、菅原 卓²⁾、東山 巨樹²⁾、笹嶋 寿郎³⁾、矢野 道広⁴⁾、蛇口 美和⁴⁾、小田 正哉⁵⁾
清水 宏明⁵⁾
¹⁾ 市立秋田総合病院 脳神経外科、²⁾ 秋田県立脳血管研究センター 脊髄脊椎診療部
³⁾ 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 認知症診療部、⁴⁾ 秋田大学大学院 小児科
⁵⁾ 秋田大学大学院 脳神経外科
- P1-42 Gdで殆ど造影されなかった脊髄硬膜内capillary hemangiomaの1例**
朝日 稔、野島 邦治
赤穂市民病院 脳神経外科
- P1-43 頸髄口ゼット形成性グリア神経細胞腫瘍の一例**
浜内 祝嗣、飛驒 一利、重川 誠二、矢野 俊介
札幌麻生脳神経外科病院

13:40 ~ 14:40 Poster session 8

Vascular 1

座長：安田 宗義（一宮西病院）

- P1-44 脊髄硬膜下血腫の一例**
内田 晋¹⁾、豊国 公子¹⁾、川崎 ゆかり¹⁾、大西 晃平¹⁾、森重 真毅¹⁾、村田 久美²⁾、藤木 稔¹⁾
¹⁾ 大分大学医学部脳神経外科、²⁾ 大分市医師会立アルメイダ病院脳神経外科
- P1-45 髄内出血にて発症した胸髄硬膜動静脈瘻の一例**
深澤 恵児、亀井 裕介、梅田 靖之
三重県立総合医療センター 脳神経外科
- P1-46 腰椎穿刺によりくも膜下出血をきたした腰椎硬膜動静脈瘻の一例**
梶谷 卓未¹⁾、遠藤 俊毅²⁾、井上 智夫³⁾、富永 悌二¹⁾
¹⁾ 東北大学 脳神経外科、²⁾ 広南病院 脳神経外科、³⁾ 仙台医療センター 脳神経外科
- P1-47 脳表ヘモジデリン沈着症の一例**
内田 晋、川崎 ゆかり、大西 晃平、豊国 公子、札幌 博貴、松田 浩幸、森重 真毅、藤木 稔
大分大学医学部脳神経外科
- P1-48 小児特発性脊髄硬膜外血腫の1例**
岩田 真治¹⁾、市川 晴久¹⁾、河野 兼久¹⁾、尾上 信二¹⁾、松井 誠司²⁾
¹⁾ 愛媛県立中央病院 脳卒中センター 脳神経外科、²⁾ 愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学
- P1-49 硬膜裂孔を伴った脳表ヘモジデリン沈着症の1例**
大橋 聡¹⁾、谷 諭¹⁾、鈴木 智也²⁾、川村 大地¹⁾、大橋 洋輝¹⁾、伊藤 清志³⁾、村山 雄一¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科
³⁾ 信州大学 医学部 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 **Poster session 9**
Infection 座長：青山 剛（手稻溪仁会病院）

- P1-50 化膿性脊椎炎に対する治療法の検討**
山本 一徹、権藤 学司、渡辺 剛史、田中 雅彦、田中 聡
湘南鎌倉総合病院

- P1-51 当院での脊椎硬膜外膿瘍に対する外科的治療方針**
寺尾 亨¹⁾、加藤 直樹¹⁾、石井 卓也¹⁾、大橋 聡¹⁾、武石 英晃¹⁾、藤田 周佑¹⁾、村山 雄一²⁾、谷 諭²⁾
¹⁾ 厚木市立病院 脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学 脳神経外科

- P1-52 椎体炎に対する経皮的内視鏡を利用した洗浄ドレナージ術**
北浜 義博
市立御前崎総合病院 脊椎センター

- P1-53 胸骨縦割法により前方固定術を施行したTh2/3化膿性脊椎炎の1例**
梅垣 昌士、佐々木 学、田村 和義、芝野 克彦、木谷 知樹、松本 勝美
医誠会病院 脳神経外科 脊椎脊髄センター

- P1-54 腰椎後方除圧術後に発生した硬膜外膿瘍による硬膜破裂の一例**
遠藤 聡¹⁾、野地 雅人¹⁾、稲垣 浩¹⁾、岡部 慎一²⁾、佐藤 明善²⁾、粕谷 泰道²⁾、杉山 耕一²⁾
¹⁾ 神奈川県立足柄上病院、²⁾ 聖麗メモリアル病院

- P1-55 化膿性脊椎炎に対する経皮的内視鏡による治療の検討**
原国 毅
浦添総合病院 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 **Poster session 10**
Pain 座長：鷲内 隆雄（イムス富士見総合病院）

- P1-56 PainDETECTによる痛み評価とSCSの有効性との関連について**
笹森 徹¹⁾、矢野 俊介¹⁾、飛驒 一利¹⁾、浜内 祝嗣¹⁾、関 俊隆²⁾、寶金 清博²⁾、齋藤 久壽¹⁾
¹⁾ 札幌麻生脳神経外科病院 脳神経外科、²⁾ 北海道大学 脳神経外科

- P1-57 脊髄刺激療法におけるリード固定法の工夫**
小泉 徹、木原 俊壺
医療法人社団親和会 京都脊椎脊髄外科・眼科病院

- P1-58 脊椎術後のフェンタニル持続投与効果の検討ー2年間の追跡結果ー**
三木 潤一郎¹⁾、今栄 信治²⁾、北山 真理¹⁾、廣鱈 洋子¹⁾、仲 寛¹⁾
¹⁾ 済生会和歌山病院 脳神経外科、²⁾ いまえクリニック

- P1-59 HLA-B27陰性の激的な仙腸関節痛を伴う強直性脊椎炎の一例**
河岡 大悟^{1,3)}、北浜 義博¹⁾、大橋 弘幸²⁾
¹⁾ 市立御前崎総合病院 脊椎センター、²⁾ 市立御前崎総合病院 リウマチセンター、³⁾ 慶仁会 川崎病院（福岡県）

P1-60 外来腰痛患者における腰椎周辺疾患に関する前向き研究
 國保 倫子¹⁾、金 景成¹⁾、井須 豊彦²⁾、森本 大二郎³⁾、岩本 直高⁴⁾、喜多村 孝雄⁴⁾、森田 明夫⁴⁾
¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター、²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科、³⁾ 日本医科大学 脳神経外科
⁴⁾ 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

P1-61 第5腰髄神経根症に伴い鼠径／股関節部痛を呈した3症例
 塚田 剛史¹⁾、飯田 隆昭¹⁾、山本 治郎¹⁾、竹内 文彦¹⁾、山本 信孝¹⁾、飯塚 秀明²⁾、佐藤 秀次¹⁾
¹⁾ 医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院、²⁾ 金沢医科大学 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 11
Pain/Complication avoidance
 座長：竹内 幹伸（愛知医科大学）

P1-62 脊椎脊髄外科経験が役立った機能的神経外科手術の3例
 石坂 俊輔、浦崎 永一郎
 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター

P1-63 仙腸関節障害と思われる急性腰痛症の保存的入院治療
 風間 健、富井 雅人、水野 順一、松島 忠夫
 総合南東北病院 脳神経外科

P1-64 電源の入れ方から始める超音波ガイド下ブロックの練習法
 竹内 幹伸、青山 正寛、川口 礼雄、前嶋 竜八、伊佐治 泰己、上甲 眞宏、高安 正和
 愛知医科大学 脳神経外科

P1-65 頸椎後方固定術後早の手術部位感染の1例：早期DAIRの重要性
 吉村 政樹¹⁾、高見 俊宏²⁾、大西 洋平¹⁾、鶴田 慎¹⁾、一ノ瀬 努¹⁾、鶴野 卓史¹⁾
¹⁾ 八尾徳洲会総合病院 脳神経外科、²⁾ 大阪市立大学医学部附属病院 脳神経外科

P1-66 頸椎前方固定術後に一過性の高音発声障害を呈した一例
 譲原 雅人、高野 裕樹、竹林 研人、木原 一徳、橘 滋國、久保田 基夫
 亀田総合病院 脊椎脊髄外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 12
Complication avoidance
 座長：井上 辰志（藤田保健衛生大学）

P1-67 片開き式頸椎椎弓形成術におけるヒンジ部骨折についての検討
 青木 正典¹⁾、佐々木 学²⁾、鈴木 強¹⁾、丸野 元彦¹⁾、貴島 晴彦³⁾
¹⁾ 行岡病院 脳神経外科、²⁾ 医誠会病院 脳神経外科、³⁾ 大阪大学医学部 脳神経外科

P1-68 頸椎椎弓形成術後にミエロパチーが増悪したVPシャント歴を有す一例
 大野 真佐輔、雄山 隆弘、安藤 遼、宮澤 卓真、新帯 一憲、浅井 琢美、須崎 法幸、梶田 泰一
 高橋 立夫
 国立病院機構 名古屋医療センター 脳神経外科

P1-69 頸椎椎弓形成術後に四肢麻痺にて発症した遅発性脊髄硬膜外血腫の1例

富井 雅人、水野 順一、風間 健、松島 忠夫
社会医療法人 将道会 総合南東北病院 脳神経外科

P1-70 後咽頭間隙血腫により上気道閉塞を来した1例

秋山 智洋、福田 晃大、富 隆志、西 正吾、山田 正信、中川 秀光
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 脳神経外科

P1-71 Spinal drainage 抜去後の低髄圧症に対して硬膜修復術が奏功した一例

陰山 博人、飯田 倫子、吉村 紳一
兵庫医科大学 脳神経外科

13:40 ~ 14:40 Poster session 13
Spinal injury 1

座長：西岡 和哉（和歌山県立医科大学）

P1-72 軽微な頭部外傷を契機に非骨傷性頸髄損傷来した症例の検討

松本 洋明、花山 寛朗、岡田 崇志、櫻井 靖男、南 浩昭、増田 敦、宮地 勝弥、山浦 生也
吉田 泰久、吉田 耕造
榮昌会 吉田病院 附属脳血管研究所 脳神経外科

P1-73 当院における脊椎・脊髄損傷に対する検討

中島 英貴、宮 史卓、北野 詳太郎、佐野 貴則、毛利 元信、清水 重利
伊勢赤十字病院 脳神経外科

P1-74 椎体形成及び椎弓根スクリュー固定を行った椎体骨折25例の検討

佐々田 晋¹⁾、高橋 雄一¹⁾、土方 保和¹⁾、広田 健吾¹⁾、岡元 彰平¹⁾、西田 憲記²⁾
¹⁾ 池友会 新小文字病院 脊髄脊椎外科、²⁾ 池友会 新武雄病院 脊髄脊椎外科

P1-75 多発椎体骨折後に遅発性脊髄麻痺を呈したびまん性特発性骨増殖症

中村 歩希¹⁾、工藤 忠²⁾、池田 哲也¹⁾、和久井 大輔¹⁾、小野寺 英孝¹⁾、榊原 陽太郎¹⁾、小林 博雄²⁾
田口 芳雄¹⁾
¹⁾ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 脳神経外科、²⁾ 石岡循環器科脳神経外科病院 脳神経外科

P1-76 強直性脊椎骨増殖症を伴う頸胸椎複合骨折術後のリハビリの工夫

片平 翔太、隈元 真志
社会医療法人 大成会 福岡記念病院

P1-77 高齢者の基礎疾患（強直性脊椎炎）と脊椎脊髄外傷

左村 和宏¹⁾、櫻井 公典^{1,2)}、朝本 俊司^{1,2)}、中村 聡²⁾、吉岡 史隆¹⁾、河島 雅到¹⁾
¹⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脳神経外科、²⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脊椎脊髄センター

P1-78 強直性脊椎骨増殖症を伴う頸胸椎複合骨折術後のリハビリの工夫

篠崎 宗久、Zareen Neela、Ryan Dan、Alexander Heather、Martin John
ニューヨーク市立大学医学部

13:40 ~ 14:40 Poster session 14

Technique/Instrumentation

座長：平澤 元浩（東京女子医科大学 東医療センター）

- P1-79 先天性脊髄脊椎疾患症例に生じた腰椎椎体骨折に対する治療選択**
水野 正喜、倉石 慶太、鈴木 秀謙
三重大学 大学院医学系研究科 脳神経外科
- P1-80 骨粗鬆症性胸腰椎椎体骨折に伴う脊柱管狭窄症に対する手術戦略**
佐々木 学¹⁾、梅垣 昌士¹⁾、田村 和義¹⁾、松本 勝美¹⁾、芝野 克彦¹⁾、木谷 智樹¹⁾、米延 策雄²⁾
¹⁾ 医誠会病院 脳神経外科・脊椎脊髄センター、²⁾ 滋慶医療科学大学院大学
- P1-81 LCSに於ける棘突起縦割法による黄色靭帯摘出法の工夫と有用性**
内之倉 俊朗¹⁾、入佐 剛¹⁾、大田 元¹⁾、森山 拓造³⁾、呉屋 朝和²⁾
¹⁾ 都城市郡医師会病院 脳神経外科、²⁾ 潤和会記念病院、³⁾ もりやま脳神経外科
- P1-82 上中位胸椎に対するWiltseのアプローチを用いた椎弓根スクリュー挿入**
永島 吉孝^{1,2)}、西村 由介²⁾、江口 馨²⁾、福岡 俊樹²⁾、栗屋 堯之²⁾、赤堀 翔²⁾、秦 誠宏¹⁾
若林 俊彦²⁾
¹⁾ さくら総合病院 脳神経外科、²⁾ 名古屋大学 脳神経外科
- P1-83 側弯矯正術後の固定上位端圧潰に対して前後方で固定延長した一例**
横山 洋平、林 英樹、高山 柄哲
大津市民病院 脳神経外科
- P1-84 中下位頸椎脱臼損傷に対する、新たな手術治療方法**
坂本 王哉¹⁾、内門 久明²⁾
¹⁾ 福岡大学 筑紫病院 脳神経外科、²⁾ 医療法人) ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック

13:40 ~ 14:40 Poster session 15

Technique/Instrumentation

座長：山本 慎司（大西脳神経外科病院）

- P1-85 頸部神経根症に対する内視鏡下椎間孔開放術の初期経験**
中島 良夫¹⁾、木谷 隆一¹⁾、得田 和彦¹⁾、宇野 豪洋¹⁾、久保 雅寛²⁾、西村 泰彦³⁾
¹⁾ 富山労災病院 脳神経外科、²⁾ 富山労災病院 神経内科、³⁾ 和歌山向陽病院 脊椎脊髄外科センター
- P1-86 Wrong-level surgeryを予防するための術中ナビゲーションの有効性**
伊東 清志、宮岡 嘉就、青山 達郎、堀内 哲吉、本郷 一博
信州大学医学部脳神経外科
- P1-87 脳脊髄液減少症の合併症としての頭蓋内静脈血栓症**
山本 慎司、大西 英之、久我 純弘、兒玉 裕司、林 真人、大西 宏之、高橋 賢吉、佐藤 文哉
大西脳神経外科病院 脳神経外科
- P1-88 ゴーハム病に発生した頭蓋内圧亢進症の1例**
内田 栄太¹⁾、高井 敬介¹⁾、本郷 博貴¹⁾、安井 利夫²⁾、谷口 真¹⁾
¹⁾ 東京都立神経病院 脳神経外科、²⁾ 東京都立神経病院 神経内科

P1-89 脊髄癒着性くも膜炎・脊髄空洞症に対して外科治療を行った2例

馬越 通有¹⁾、安原 隆雄¹⁾、久壽米木 亮¹⁾、富田 陽介¹⁾、金 恭平¹⁾、守本 純¹⁾、眞鍋 博明²⁾、三好 康之³⁾、伊達 勲¹⁾

¹⁾ 岡山大学大学院 脳神経外科、²⁾ 交野病院 信愛会脊椎脊髄センター

³⁾ 川崎医科大学総合医療センター 脳神経外科

P1-90 C2神経根起始部に髄膜憩室を認めた脳脊髄液漏出症の一例

牟礼 英生、榎本 紀哉、大北 真哉、永廣 信治

徳島大学 医学部 脳神経外科

6月9日（金）第2日目
第1・2ポスター会場

13:30 ~ 14:30 Poster session 16
Imaging diagnosis

座長：高橋 雄一（新小文字病院）

- P2-1 CT機能撮影における頸椎黄色靭帯石灰化症の動的変化について
藤本 昌志¹⁾、谷岡 悟²⁾、川北 文博¹⁾、朝倉 文夫¹⁾、村田 浩人¹⁾、諸岡 芳人¹⁾
¹⁾ 済生会松阪総合病院 脳神経外科、²⁾ 三重中央医療センター
- P2-2 頸胸椎移行部の確認できない際の脊椎矢状面アライメントの計測
菅田 淳、山畑 仁志、森 正如、新納 忠明、米永 理法、岡田 朋久、樋渡 貴昭、有田 和徳
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学
- P2-3 保存的に経過観察した脊髄硬膜外血腫の画像所見の推移
中嶋 昌一、田中 聡
東京西徳洲会病院 脳神経外科
- P2-4 3D-CTAによる上甲状腺動脈の走行についての検討
樋渡 貴昭^{1,2)}、山畑 仁志²⁾、岡田 朋久²⁾、菅田 淳²⁾、米永 理法²⁾、森 正如²⁾、新納 忠明²⁾
平原 一穂¹⁾、有田 和徳²⁾
¹⁾ 鹿児島市立病院 脳神経外科、²⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科
- P2-5 Videofluoroscopyを用いた嚥下障害評価
宮原 孝寛¹⁾、梶原 壮翔¹⁾、鬼木 祐矢²⁾
¹⁾ 公立八女総合病院 脳神経外科、²⁾ 公立八女総合病院 リハビリテーション科
- P2-6 腰仙部移行椎を伴う健常人の全脊椎矢上面アライメント
横山 邦生、川西 昌浩、山田 誠、田中 秀一、伊藤 裕、杉江 亮
医仁会武田総合病院 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 17
Cervical spine 3

座長：佐々木 伸洋（信愛会脊椎脊髄センター）

- P2-7 頸椎スクリューを用いず固定手術を行ったAADの2症例。
草鹿 元¹⁾、神田 大²⁾、永井 睦¹⁾、伊古田 雅史¹⁾、柚 夏美¹⁾、辻 俊幸¹⁾、海老原 彰¹⁾、田中 裕一¹⁾
¹⁾ 自治医科大学 付属さいたま医療センター 脳神経外科、²⁾ 東京臨海病院 脳神経外科
- P2-8 Facet distraction-arthrodesis surgery
宮脇 真理¹⁾、中島 正明²⁾、伊勢田 恵一²⁾、高橋 健治²⁾
¹⁾ 岡山済生会総合病院 初期臨床研修医、²⁾ 岡山済生会総合病院 脳神経外科
- P2-9 C3/4レベルの頸椎症性脊髄症に起因する手指巧緻運動障害の検討
岩室 宏一^{1,2)}、伊澤 奈々³⁾、原 毅²⁾、新井 一²⁾、藤原 俊之³⁾、服部 信孝¹⁾
¹⁾ 順天堂大学大学院医学研究科 運動障害疾患病態研究・治療講座、²⁾ 順天堂大学 医学部 脳神経外科
³⁾ 順天堂大学 医学部 リハビリテーション科

- P2-10 頰椎前方固定術後に自然消退を認めた頰椎 facet cyst の 1 例**
有田 都史香¹⁾、二宮 貢士²⁾、都築 貴¹⁾、岩月 幸一³⁾
¹⁾ 八尾市立病院 脳神経外科、²⁾ 笹生病院 脳神経外科、³⁾ 大阪大学 脳神経外科
- P2-11 C5麻痺で発症し C3/4前方除圧により改善した頰椎症性筋委縮症の 1 例**
米永 理法¹⁾、中野 真一¹⁾、山畑 仁志²⁾、時村 洋²⁾、有田 和徳²⁾
¹⁾ 野口脳神経外科、²⁾ 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学
- P2-12 頰椎 OPLL の後方除圧術後に遅発性に高位頰髄圧迫を来した 1 例**
佐々木 貴啓、小柳 泉、今村 博幸、千葉 泰弘、上森 元気、遠藤 将吾、吉野 雅美、青樹 毅
会田 敏光
北海道脳神経外科記念病院
- P2-13 無症候性両側高度内頰動脈狭窄を合併した頰椎椎間板ヘルニアの 1 例**
阿部 英治¹⁾、内田 晋²⁾、豊国 公子²⁾、大西 晃平²⁾、久光 慶紀²⁾、川崎 ゆかり²⁾、森重 真毅²⁾
久保 毅²⁾、石井 圭亮³⁾、藤木 稔²⁾
¹⁾ 永富脳神経外科病院 脳神経外科、²⁾ 大分大学 脳神経外科、³⁾ 大分大学 救急医学講座
- 13:30 ~ 14:30 Poster session 18**
Thoracic /Lumbar spine 4
座長：金 景成（日本医科大学千葉北総病院）
- P2-14 The case report of idiopathic spinal cord herniation**
Jaeyon Choi, Yongeun Cho, kyunghyun Kim
Department of Neurosurgery, Gangnam Severance Hospital, Yonsei University College of Medicine, Korea
- P2-15 仙骨部症候性 Tarlov 嚢胞に対する外科的治療**
本多 文昭、島内 寛也、好本 裕平
群馬大学 医学部 脳神経外科
- P2-16 脳神経外科と整形外科による腰椎後方除圧術は何が違うのか**
吉川 哲史¹⁾、龍 浩志¹⁾、野村 契¹⁾、西村 由介²⁾、江口 馨²⁾、福岡 俊樹²⁾、栗屋 堯之²⁾、吉田 剛³⁾
若林 俊彦²⁾
¹⁾ 総合青山病院 脳・脊髄センター、²⁾ 名古屋大学脳神経外科、³⁾ 浜松医科大学整形外科
- P2-17 腰部脊柱管狭窄・椎間孔狭窄に対し脊柱管内外除圧を行った高齢者 2 例**
島 浩史¹⁾、玉瀬 玲²⁾、福井 一生³⁾、島 利夫¹⁾
¹⁾ 島脳神経外科整形外科医院 脳神経外科、²⁾ 金沢医科大学病院 脳神経外科、³⁾ 横浜栄共済病院 脳神経外科
- P2-18 L4神経根障害を呈した Far-out 症候群の一症例**
石垣 大哉^{1,2)}、菅原 淳¹⁾、小笠原 邦昭¹⁾
¹⁾ 岩手医科大学 脳神経外科、²⁾ JA 秋田厚生連 かつの厚生病院 脳神経外科
- P2-19 腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起斜割式片側侵入両側除圧術**
芳村 憲泰、鶴藪 浩一郎、呉村 有紀、中村 洋平、梶川 隆一郎、永島 宗紀、山田 直明、若山 暁
大阪脳神経外科病院 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 19 Lumbar spine 5	座長：宮尾 泰慶（市立吹田市民病院）
--	--------------------

- P2-20 腰椎棘突起・傍脊柱筋再建の工夫—棘突起3分割再建法—**
 浦崎 永一郎、石坂 俊輔
 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター
- P2-21 Conjoined nerve rootを合併した腰椎椎間板ヘルニアの2手術例**
 藤田 周佑¹⁾、寺尾 亨¹⁾、加藤 直樹¹⁾、武石 英晃¹⁾、谷 諭²⁾、村山 雄一²⁾
¹⁾ 厚木市立病院 脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学 脳神経外科
- P2-22 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術後にサルベージを行なった一例**
 青山 剛、小原 由史
 手稲溪仁会病院 整形外科 脊椎脊髄センター
- P2-23 L5 / S1 前方椎体間固定術の治療成績**
 高橋 健治、中島 正明、伊勢田 恵一
 岡山済生会総合病院 脳神経外科
- P2-24 再発後に自然軽快した synovial cyst の一例**
 阿美古 将¹⁾、武田 正明¹⁾、山口 智¹⁾、今田 裕尊²⁾、栗栖 薫¹⁾
¹⁾ 広島大学脳神経外科、²⁾ 山田記念病院

13:30 ~ 14:30 Poster session 20 Lumbar spine 6	座長：本田 英一郎（白石共立病院）
--	-------------------

- P2-25 腰椎圧迫骨折を契機に発症する腰部脊柱管狭窄症についての検討**
 芝本 和則、二宮 貢士
 笹生病院 脳神経外科
- P2-26 腰椎変性疾患周術期における腰臀下肢の圧痛所見の意義を問う**
 千葉 泰弘、小柳 泉、今村 博幸、上森 元気、佐々木 貴啓、遠藤 将吾、吉野 雅美、青樹 毅
 会田 敏光
 北海道脳神経外科記念病院 脳神経外科
- P2-27 腰部脊柱管狭窄症による下肢症状に対する頸部脊柱管狭窄症の影響**
 川那辺 吉文、藤本 基秋、芝田 純也、佐藤 宰
 静岡県立総合病院 脳神経外科
- P2-28 腰部脊柱管狭窄症に対する除圧術後再発例の検討**
 芝本 和則、二宮 貢士
 笹生病院 脳神経外科
- P2-29 80歳以降の腰部脊柱管狭窄症に対する片側侵入両側減圧術の治療成績**
 田村 和義、佐々木 学、梅垣 昌士
 医誠会病院 脊椎脊髄センター

P2-30 典型的な椎間孔狭窄所見を呈した高齢者のL5分離切り症本田 英一郎¹⁾、永瀬 聡士¹⁾、田中 達也²⁾、桃崎 宣明²⁾¹⁾ 白石共立病院脳神経脊髄外科、²⁾ 伊万里有田共立病院

13:30 ~ 14:30 Poster session 21

Tumor 2

座長：三好 康之（川崎医科大学総合医療センター）

P2-31 大孔部髄膜腫の治療経験

大西 諭一郎、藤原 翔、鷹羽 良平、岩月 幸一、貴島 晴彦

大阪大学 医学部 脳神経外科

P2-32 頸椎に発生したダンベル型脊髄髄膜腫の一例駒谷 英基¹⁾、吉武 秀展¹⁾、城屋敷 健志³⁾、岡本 右滋¹⁾、梶原 収功¹⁾、森岡 基浩²⁾¹⁾ 済生会八幡総合病院 脳神経外科、²⁾ 久留米大学医学部 脳神経外科、³⁾ 済生会八幡総合病院 臨床工学科**P2-33 P-UPART（白石法）にて摘出しえた頸椎ダンベル型神経鞘腫の1例**

倉石 慶太、水野 正喜、鈴木 秀謙

三重大学 医学部 脳神経外科

P2-34 頸髄 dumbbell 型 concurrent 腫瘍の一例梶原 洋介¹⁾、山口 智²⁾、武田 正明²⁾、光原 崇文²⁾、松田 真伍²⁾、栗栖 薫²⁾¹⁾ 五田市記念病院 脳神経外科、²⁾ 広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学**P2-35 肺尖部に伸展した nerve sheath tumor に対し外科的摘出しえた 1 例**

長尾 紀昭、乾 敏彦、森田 寛之、古部 昌明、松田 康、富永 良子、山里 景祥、長谷川 洋

北野 昌彦、富永 紳介

富永病院 脳神経外科

P2-36 頸椎に発生した腱鞘巨細胞腫の 1 例堀越 徹¹⁾、二木 智子¹⁾、原田 理人²⁾¹⁾ 親和会 西島病院 脳神経外科、²⁾ 親和会 西島病院 整形外科**P2-37 第2頸椎に発生し、強い椎体変形をきたした plasma cell myeloma の1例**

浜砂 亮一

地方独立行政法人 西都児湯医療センター 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 22

Tumor 3

座長：伊東 清志（信州大学）

P2-38 髄内成分を伴った頸髄 solitary fibrous tumor の1例

久壽米木 亮、安原 隆雄、牧野 圭吾、富田 陽介、佐々田 晋、豊嶋 敦彦、守本 純、金 恭平

馬越 通有、伊達 勲

岡山大学大学院 脳神経外科

- P2-39 高齢者の上位頸髄悪性神経膠腫に対するアバスタチンとTMZの併用療法**
 南田 善弘、鷗飼 亮、古明地 孝宏、関 隆史
 砂川市立医療センター 脳神経外科
- P2-40 Cervical meningeal melanocytomaの1例**
 新村 学、久ヶ澤 一葉、米倉 一郎、豊田 富勝
 JCHO東京新宿メディカルセンター 脳神経外科
- P2-41 術前に血管芽腫が疑われた頸髄血管外皮腫の1例**
 岡田 朋久¹⁾、山畑 仁志¹⁾、山口 智²⁾、森 正如¹⁾、新納 忠明¹⁾、米永 理法¹⁾、樋渡 貴昭¹⁾
 有田 和徳¹⁾
¹⁾ 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学、²⁾ 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学
- P2-42 外科手術に先行して行った放射線治療が奏功したC4多発性骨髄腫の1例**
 橋本 亮¹⁾、横山 智哉¹⁾、中島 晃弘²⁾、大塚 邦紀¹⁾、長谷川 麻矢¹⁾、須永 茂樹¹⁾、神保 洋之¹⁾
¹⁾ 東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科、²⁾ 東京医科大学八王子医療センター 血液内科
- P2-43 頸髄髄内腫瘍手術において椎弓形成術を行うと術後変形の頻度が低い**
 黒川 龍¹⁾、金 彪¹⁾、新郷 哲郎¹⁾、米澤 元樹¹⁾、糸岐 一茂²⁾、川本 俊樹³⁾
¹⁾ 獨協医科大学 脳神経外科、²⁾ 宇都宮脳脊髄センター、³⁾ 東京通信病院

13:30 ~ 14:30 Poster session 23
Tumor 4
座長：北原 功雄（千葉徳洲会病院）

- P2-44 下肢麻痺で発症した形質細胞白血病の1例**
 眞鍋 博明、福田 美雪、佐々木 伸洋、黒田 昌之、上田 茂雄、寶子丸 稔
 信愛会 脊椎脊髄センター
- P2-45 複数科合同手術により全摘しえた脊椎骨巨細胞腫の一例**
 江口 馨、西村 由介、福岡 俊樹、粟屋 堯之、赤堀 翔、永島 吉孝
 名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科
- P2-46 脊髄円錐部に発生した脊髄軟膜下脂肪腫の1治療例**
 伊藤 清佳、深尾 繁治、五十棲 孝裕、李 英彦、木戸岡 実
 京都岡本記念病院 脳神経外科
- P2-47 術後後遺症を回避できた仙骨部巨大神経鞘腫の一例**
 森田 寛也¹⁾、乾 敏彦¹⁾、長尾 紀昭¹⁾、向 祐樹²⁾、山田 大²⁾、古部 昌明¹⁾、松田 康²⁾、富永 良子²⁾
 北野 昌彦²⁾、富永 紳介²⁾
¹⁾ 富永病院 脳神経外科 脊椎脊髄治療センター、²⁾ 富永病院 脳神経外科
- P2-48 L2硬膜外神経鞘腫に対する顕微鏡下鍵穴式Wiltsアプローチの2例**
 北原 功雄、福田 直、鈴木 遼、篠崎 宗久、小林 信介
 千葉徳洲会病院 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 24
Vascular 2
座長：高山 柄哲（大津市民病院）

- P2-49 頭蓋頸椎移行部腹側に存在する破裂前脊髄動静脈瘻の1手術例**
大谷 直樹、大塚 陽平、松本 崇、藤井 隆司、竹内 誠、豊岡 輝繁、和田 孝次郎、森 健太郎
防衛医科大学校 脳神経外科
- P2-50 急性硬膜外血腫で発症した上位頸椎 epidural AVF の1例**
島 彰吾¹⁾、新見 康成²⁾、岡田 芳和¹⁾、茂木 陽介^{1,2)}、佐藤 慎祐^{1,2)}、井上 龍也^{1,2)}、桑本 健太郎¹⁾
¹⁾ 聖路加国際病院 脳神経外科、²⁾ 聖路加国際病院 神経血管内治療科
- P2-51 仙骨部および頸椎硬膜動静脈瘻の同期合併の1例**
賀来 泰之^{1,2)}、大森 雄樹¹⁾、河野 隆幸¹⁾、竹島 裕貴¹⁾、倉津 純一³⁾
¹⁾ 熊本大学脳神経外科、²⁾ 済生会熊本病院脳卒中センター脳神経外科、³⁾ 桜十字病院
- P2-52 診断に難渋した頭蓋頸椎移行部の硬膜動静脈瘻の1例**
永瀬 聡士¹⁾、本田 英一郎¹⁾、宮原 孝寛²⁾、田中 達也³⁾、桃崎 宣明³⁾
¹⁾ 白石共立病院 脳神経脊髄外科、²⁾ 公立八女総合病院 脳神経外科、³⁾ 伊万里有田共立病院 脳神経外科
- P2-53 A to A 塞栓症で発症した Bow hunter 症候群の1例**
玉瀬 玲、白神 俊祐、岡本 一也、立花 修、飯塚 秀明
金沢医科大学 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 25
Vascular 3
座長：大橋 洋輝（東京慈恵会医科大学）

- P2-54 脳卒中様症状を示す脊髄硬膜外血腫の検討**
田中 貴大、村田 英俊、林 貴啓、宮崎 良平、佐藤 充
横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
- P2-55 特徴的な画像所見を示さず診断に苦慮した脊髄硬膜動静脈瘻の1例**
森 正如、山畑 仁志、菅田 淳、新納 忠明、有田 和徳
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科
- P2-56 内頸静脈血栓を伴い保存的治療で治癒した特発性脊髄硬膜外血腫の一例**
山本 一徹、権藤 学司、渡辺 剛史、田中 雅彦、田中 聡
湘南鎌倉総合病院
- P2-57 硬膜外麻酔が一因と思われた脊髄硬膜外血腫の1例**
國保 倫子¹⁾、金 景成¹⁾、井須 豊彦²⁾、森本 大二郎³⁾、岩本 直高⁴⁾、喜多村 孝雄³⁾、森田 明夫³⁾
¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター、²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科
³⁾ 日本医科大学 脳神経外科、⁴⁾ 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

- P2-58 脳血管攣縮を脊髄髄内出血後に生じた一症例**
 大蔵 篤彦¹⁾、松尾 洲佐久²⁾、岡 雄一¹⁾、山田 和雄³⁾、間瀬 光人¹⁾
¹⁾ 名古屋市立大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 豊川市民病院 脳神経外科
³⁾ 名古屋市総合リハビリテーションセンター
- P2-59 脊髄硬膜外動静脈瘻を合併したCowden病患者の1例**
 武井 淳¹⁾、栃木 悟¹⁾、梶原 一輝¹⁾、一之瀬 大輔¹⁾、坂本 広喜¹⁾、田中 俊英¹⁾、長谷川 譲¹⁾
 石橋 敏寛²⁾、谷 諭²⁾、村山 雄一²⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 26
Vascular 4/Syringomyelia
座長：野中 康臣（平和病院）

- P2-60 頸椎硬膜膜内血腫の一例**
 野中 康臣¹⁾、田村 陸弘¹⁾、石井 文久¹⁾、長張 浩昌²⁾
¹⁾ 平和病院 脊椎外科、²⁾ 東邦大学医療センター 大橋病院 整形外科
- P2-61 特発性慢性腰椎硬膜外血腫の一例**
 岡崎 敏之、中川 洋、早瀬 仁志、齋藤 孝次
 釧路孝仁会記念病院 脳・脊髄脊椎センター
- P2-62 頭部慢性硬膜下血腫と腰仙椎硬膜下血腫を合併した一例**
 上甲 眞宏、青山 正寛、竹内 幹伸、高安 正和
 愛知医科大学 脳神経外科
- P2-63 キアリI型奇形のFMD術後、急性水頭症を合併した一例**
 吉藤 和久¹⁾、大森 義範¹⁾、小柳 泉²⁾
¹⁾ 北海道立子ども総合医療・療育センター 脳神経外科、²⁾ 北海道脳神経外科記念病院
- P2-64 C1-C2 laminar overlapを伴うキアリI型奇形に対する大孔減圧術の工夫**
 佐野 透、川村 大地、大橋 聡、大橋 洋輝、谷 諭、村山 雄一
 東京慈恵会医科大学 脳神経外科
- P2-65 くも膜炎の関連が疑われたDorsal spinal arachnoid webの3例**
 山本 優、原 政人、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央
 稲沢市民病院 脳神経外科
- P2-66 自家大腿筋膜を用いて硬膜形成を行なったキアリI型奇形の治療**
 佐藤 光¹⁾、伊藤 康信¹⁾、沼澤 真一¹⁾、保坂 善昭¹⁾、渡辺 貞義¹⁾、渡辺 一夫²⁾
¹⁾ 総合東京病院、²⁾ 総合南東北病院

13:30 ~ 14:30 Poster session 27
Syringomyelia/Infection/Technique
 座長：村上 友宏（札幌宮の沢脳神経外科病院）

- P2-67 キアリ1型奇形に伴う脊髄空洞症に対する五苓散の効果**
 村上 友宏¹⁾、内田 邦彦²⁾、計良 和成²⁾、廣瀬 真樹²⁾、松村 茂樹¹⁾
¹⁾ 医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院 脳神経外科
²⁾ 医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院 放射線部
- P2-68 脊髄くも膜嚢胞の3例**
 戸井 宏行、小川 祐佳里、木下 景太、佐藤 昂平、平井 聡、高井 洋樹、原 慶次郎、松原 俊二
 宇野 昌明
 川崎医科大学 脳神経外科
- P2-69 食道癌放射線後咽頭後壁穿孔に起因した頸椎硬膜外膿瘍の1例**
 谷口 美季、三好 康之、大西 学、目黒 俊成、小野 成紀
 川崎医科大学総合医療センター 脳神経外科
- P2-70 The value of F-18 FDG PET/MRI for evaluating residual lesion in spine infection : a case report**
 Ikchan Jeon, Sang Woo Kim
 Neurosurgery department, Yeungnam University Hospital, Daegu, South Korea
- P2-71 肋骨グラフトを用いた後頭骨頸椎後方固定術の1小児例**
 沼澤 真一¹⁾、伊藤 康信¹⁾、佐藤 光¹⁾、大友 朋子¹⁾、酒井 淳¹⁾、田中 純一¹⁾、筑井 恵美子¹⁾
 渡邊 貞義¹⁾、渡邊 一夫²⁾
¹⁾ 医療法人 健貢会 総合東京病院 脳神経外科、²⁾ 財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 脳神経外科
- P2-72 ALPV手術におけるPLL近傍の手を焼く静脈生出血に対する止血のコツ**
 西 正吾、中川 秀光、山田 正信、秋山 智洋、富 隆志、福田 章大
 野崎徳洲会病院
- P2-73 脊髄腹側腫瘍に対し術中内視鏡支援が有用であった一例**
 野手 康宏、原田 直幸、榮山 雄紀、上田 啓太、安藤 俊平、榊田 博之、近藤 康介、根本 匡章
 周郷 延雄
 東邦大学医学部医学科脳神経外科学講座(大森)

13:30 ~ 14:30 Poster session 28
Technique/Instrumentation
 座長：佐々木 学（医誠会病院）

- P2-74 MELに対するユニームと経鼻下垂体用内視鏡の有用性**
 服部 夏樹、我那覇 司、井上 辰志、長谷川 光広、廣瀬 雄一
 藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科
- P2-75 椎弓根スクリーシステムによる動的制動術後の毛髪内チタン濃度推移**
 大隣 辰哉、西原 伸治、大田 泰正、小山 素磨
 脳神経センター大田記念病院 脊椎脊髄外科

- P2-76 正中腰椎椎間板ヘルニアに対する経皮的内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術**
南学¹⁾、花北 順哉¹⁾、高橋 俊行¹⁾、大竹 安史¹⁾、佐々木 夏一¹⁾、小柳 祐也¹⁾、北浜 義博²⁾
¹⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター、²⁾ 市立御前崎病院 脊椎センター
- P2-77 当院での経皮的内視鏡下椎間板摘出術の治療成績**
河岡 大悟^{1,3)}、北浜 義博¹⁾、南学²⁾
¹⁾ 市立御前崎総合病院 脊椎センター、²⁾ 藤枝平成記念病院 脊髄脊椎疾患治療センター
³⁾ 慶仁会 川崎病院 (福岡県)
- P2-78 O-arm navigationを用いて有効な除圧を得たfar-out syndromeの1例**
福岡 俊樹、西村 由介、江口 馨、吉川 哲史、栗屋 堯之、若林 俊彦
名古屋大学 脳神経外科
- P2-79 腰椎変性側弯を伴う腰下肢痛に対する治療**
岩本 直高¹⁾、井須 豊彦²⁾、金 景成³⁾、森本 大二郎⁴⁾、國保 倫子³⁾、松本 順太郎²⁾、山内 朋裕²⁾
磯部 正典²⁾、松野 彰¹⁾
¹⁾ 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科、²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科
³⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科、⁴⁾ 日本医科大学付属病院 脳神経外科

13:30 ~ 14:30 Poster session 29
Pain/Complication avoidance
座長：磯島 晃 (大森赤十字病院)

- P2-80 頸椎椎弓形成術において抗血小板剤内服が術中術後出血量に与える影響**
福田 美雪、上田 茂雄、佐々木 伸洋、黒田 昌之、眞鍋 博明、寶子丸 稔
信愛会脊椎脊髄センター
- P2-81 成人腰椎骨切り術後に合併した上腸間膜症候群の1例**
梅林 猛、光山 哲滝、熊野 潔
品川志匠会病院 脊椎外科
- P2-82 髄液オーバードレナージにより脊髄症をきたした1例**
原 毅¹⁾、岩室 宏一¹⁾、中島 円¹⁾、尾原 裕康²⁾、新井 一¹⁾
¹⁾ 順天堂大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄末梢神経外科
- P2-83 腰椎変性疾患手術時の糖尿病と肥満の管理**
中村 聡¹⁾、櫻井 公典^{1,2)}、朝本 俊司^{1,2)}、左村 和宏²⁾、吉岡 史隆²⁾、河島 雅到²⁾
¹⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脊椎脊髄センター、²⁾ 国際医療福祉大学医学部 三田病院 脳神経外科
- P2-84 大孔減圧術後に環椎前弓骨折を生じた1例**
磯島 晃¹⁾、勅使川原 昭彦¹⁾、荒川 秀樹¹⁾、栃木 悟²⁾、松本 賢芳¹⁾
¹⁾ 大森赤十字病院脳神経外科、²⁾ 東京慈恵会医科大学付属柏病院脳神経外科
- P2-85 強直性脊椎病変に伴う脊椎骨折を繰り返した2症例**
富士 龍之介¹⁾、川口 哲²⁾、堀籠 圭子²⁾、八島 英基²⁾、瀧村 浩介²⁾、渡邊 吾一³⁾
¹⁾ 札幌医科大学、²⁾ 旭川厚生病院 整形外科、³⁾ 札幌スパインクリニック

P2-86 若年後頸部横断外傷の治療戦略と治癒経過

糸岐 一茂¹⁾、大谷 亮平²⁾、黒川 龍²⁾、新郷 哲郎²⁾、金 彪²⁾

¹⁾ 宇都宮脳脊髄センター、²⁾ 獨協医科大学病院 脳神経外科

P2-87 診断に難渋した心肺停止発症の高齢者上位頸椎損傷 -2症例報告-

田中 秀一、川西 昌浩、山田 誠、横山 邦生、伊藤 裕、杉江 亮

医仁会 武田総合病院 脳神経外科

P2-88 びまん性特発性脊椎骨増殖症に伴う頸胸椎複合骨折の治療経験

隈元 真志¹⁾、野中 俊宏²⁾、橋本 哲²⁾、溝田 新吾³⁾、大田 正流³⁾、古市 将司³⁾、本家 秀文²⁾

¹⁾ 福岡記念病院 脊椎脊椎外科、²⁾ 福岡記念病院 整形外科、³⁾ 福岡記念病院 脳神経外科

P2-89 横断骨折を来したびまん性特発性骨増殖症に対する手術治療

梅垣 昌士、佐々木 学、田村 和義、芝野 克彦、木谷 知樹、松本 勝美

医誠会病院 脳神経外科 脊椎脊髄センター

P2-90 スポーツを契機に発症した頸椎硬膜外血腫の1例

北山 真理、三木 潤一郎、廣鱗 洋子、仲 寛

済生会和歌山病院 脳神経外科

P2-91 骨折を伴わない外傷性環軸椎亜脱臼の一例

櫻井 公典^{1,2)}、朝本 俊司^{1,2)}、中村 聡²⁾、佐村 和宏¹⁾、吉岡 史隆¹⁾、河島 雅到¹⁾

¹⁾ 国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脳神経外科、²⁾ 国際医療福祉大学 医学部 三田病院 脊椎脊髄センター

English session

Program

June 8 (Thu.) 1st Day
RoomA

10:35-11:40

Symposium 1

Pediatric Spine Surgery: Current State and Future Perspective

Chairmen : Atul Goel (Seth G.S Medical College and K.E.M Hospital)

Nobuhito Morota (Tokyo Metropolitan Children's Medical Center)

S1-1 Current Issues in the Field of Pediatric Spinal Surgery

Hiroaki Sakamoto¹⁾, Yasuhiro Matsusaka¹⁾, Noritsugu Kunihiro¹⁾, Tooru Yamagata²⁾

¹⁾Department of Pediatric Neurosurgery, Osaka City General Hospital

²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital

S1-2 Pediatric spinal surgery: current status and feature perspective

Nobuhito Morota¹⁾, Satoshi Ihara¹⁾, Hideki Ogiwara²⁾

¹⁾Department of Neurosurgery, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center

²⁾Division of Neurosurgery, National Center for Child Health and Development

S1-3 Current status of pediatric spinal surgery at university hospital and children's hospital

Satoshi Ihara^{1,2)}, Kyoji Tsuda^{1,2)}, Aya Yamamoto¹⁾, Nobuhito Morota¹⁾, Ai Muroi²⁾

Tetsuya Yamamoto²⁾, Akira Matsumura²⁾

¹⁾Division of Neurosurgery, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center

²⁾Department of Neurosurgery, University of Tsukuba

S1-4 Prognostic factor and surgical technique for spinal lipoma

Hirokatsu Osawa, Masamune Nagakura, Mihoko Kato

Department of Neurosurgery, Aichi Children's Health and Medical Center

S1-5 Sacral perineural cyst in pediatric population: pathophysiological insight

Muneyoshi Yasuda¹⁾, Mikiko Funai¹⁾, Nobuo Shirasaka¹⁾, Keisuke Ito¹⁾, Makoto Negoro¹⁾

Akihiro Miyasaki¹⁾, Takako Kobayashi²⁾, Kaori Mizukawa²⁾, Shinya Adachi²⁾

¹⁾Department of Neurological Surgery, Ichinomiya-Nishi Hospital

²⁾Department of Pediatric medicine, Ichinomiya-Nishi Hospital

S1-6 Surgical outcome of children with asymptomatic tethered cord syndrome

Toshitaka Seki, Kazutoshi Hida, Kiyohiro Houkin

Department of Neurosurgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine

S2-1 Surgical strategy for craniovertebral junction

Masashi Neo

Department of Orthopedic Surgery, Osaka Medical College

S2-2 Lessons learnt during surgery on over 1700 cases by lateral mass atlantoaxial fixation over 30 years.

Atul Goel

Department of Neurosurgery, Seth G.S. Medical College and K.E.M Hospital, Parel, Mumbai

S2-3 Surgical treatments for instability at cranio-vertebral junction: outcome, influence factors to outcome and comparison them between in USA and Japan.Misao Nishikawa¹, Thomas Milhorat², Paolo Bolognese², Yusuke Kidosaki¹, Hiroyuki Goto¹, Atsufumi Nagahama³, Hiroki Ohata³, Hiroshi Uda², Saya Koh¹, Hiromichi Ikuno¹¹Department of Neurosurgery, Moriguchi-Ikuno Memorial Hospital²Department of Neurosurgery, North Shore University Hospital³Osaka City University Graduate School of Medicine**S2-4 Ventral craniovertebral junction surgery with special reference to microsurgical lateral approach and endoscopic anterior approach**Tatsushi Inoue¹, Natsuki Hattori¹, Tadasi Kumai¹, Sinichiro Tateyama¹, Sui Yamashiro¹Sadakatsu Watanabe², Junpei Oda², Ichiro Nakahara², Mitsuhiro Hasegawa¹, Yuichi Hirose¹¹Department of Neurosurgery, Fujita Health University²Department of Comprehensive Strokeology, Fujita Health University**S2-5 Treatment strategy for craniovertebral junction injury**

Tsuyoshi Watanabe, Gakuji Gondo, Masahiko Tanaka, Kazuaki Yamamoto, Satoshi Tanaka

Naoyuki Noda

Department of Neurosurgery, Shonan-Kamakura General Hospital

S2-6 Investigation of the cases in which atlantoaxial fixation was performed by Magerl's method - Reconsideration of Magerl's method -

Shinsuke Suzuki, Tomoo Inoue, Kensuke Murakami, Hiroshi Uenohara

Dept.of Neurosurgery, Sendai Medical Center

S2-7 Transoral approach for craniovertebral junction disorders

Hidetoshi Murata, Mitsuru Sato, Takahiro Tanaka, Ryohei Miyazaki, Takahiro Hayashi

Shunsuke Seki, Ryo Matsuzawa, Jun Suenaga

Department of Neurosurgery, Yokohama City University Graduate School of Medical Sciences and School of Medicine

8:20-9:20

Scientific session 19

Information-guided surgery

Chairmen : Yoon Ha (Spine Research LabSeverance Hospital)
Masahito Hara (Inazawa Municipal Hospital)

A2-1 Pedicle screw insertion with O-arm navigation

Jun Morimoto, Takao Yasuhara, Yousuke Tomita, Akira Kusumegi, Michiari Umakoshi, Kyohei Kin
Atsuhiko Toyoshima, Isao Date
Department of Neurological Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine

A2-2 Usefulness of 3D images using 3T MRI in the diagnosis of lumbar spinal lesion

Ichirou Matsubara¹⁾, Keiji Igase¹⁾, Nari Tei¹⁾, Takanori Ohonisi¹⁾, Kazuhiko Sadamoto¹⁾, Seiji Mastui²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Washoukai Sadamoto Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, School of Medicine, Ehime University

A2-3 Qualitative analysis for spinal intramedullary lesions using PET-CT

Kentaro Naito¹⁾, Toshihiro Takami¹⁾, Toru Yamagata²⁾, Kenji Ohata¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine
²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital

A2-4 Evaluation for solo nerve stimulation in spinal surgery

Naoyuki Harada¹⁾, chie Matsuura¹⁾, Yuuki Sakaeyama¹⁾, Keita Ueda¹⁾, Shunpei Ando¹⁾
Hiroyuki Masuda¹⁾, Kosuke Kondo¹⁾, Masaaki Nemoto¹⁾, Nobuo Sugo¹⁾, Kunio Sugiyama²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery (Omori), School of Medicine, Faculty of Medicine, Toho University
²⁾Clinical Laboratory Department, Omori Medical Center of Toho University

A2-5 Finite element method and augmented reality make the future

Daisuke Umebayashi^{1,2)}, Nobuhisa Fukaya¹⁾, Yu Yamamoto¹⁾, Yasuhiro Nakajima¹⁾, Masahito Hara¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Inazawa Municipal Hospital, Aichi
²⁾Department of Neurosurgery, Kyoto Prefectural University of Medicine

A2-6 Intraoperative motor-evoked potential (MEP) monitoring during spinal surgery in patients with less than MMT 2/5 preoperative motor palsy

Satoshi Tanaka¹⁾, Shouichi Nakajima¹⁾, Hidehiro Oka²⁾, Junko Takanashi³⁾, Jiro Akimoto⁴⁾
¹⁾Department of Neuro-Oncology and Neurosurgery, Tokyo Nishi Tokushukai Hospital, Japan
²⁾Department of Neurosurgery, Kitasato University Medical Center, Japan
³⁾Department of Clinical Laboratory, Kitasato University Medical Center, Japan
⁴⁾Department of Neurosurgery, Tokyo Medical University, Japan

- A2-7 Intergration of 3D augmented image-navigated spinal surgery**
 Chi-Tun Tang^{1,4)}, Cheng-Mao Cheng²⁾, Tzu-Tsao Chung¹⁾, Dueng-Yuan Hueng³⁾, Da-Tong Ju¹⁾
 Hsin-I Ma¹⁾, Ming-Ying Liu¹⁾, Yuan-Hao Chen¹⁾
¹⁾Department of Neurological Surgery, Tri-service General Hospital, Taiwan
²⁾Department of Surgery, Hualien Armed Forces General Hospital, Taiwan
³⁾Superintendent, Peng-hu branch of Tri-service General Hospital, Taiwan
⁴⁾Graduate Institute of Medical Sciences, National Defense Medical Center, Taiwan

- A2-8 Instrumentation through interrupted trajectory in complex cervical spine cases**
 Walid Attia, Khalid Al Musrea
 KING FAHAD MEDICAL CITY

9:20-11:00

Symposium 3

Information-Guided Spine Surgery: Current State and Future Perspective

Chairmen : Kang Lu (E-Da Hospital)

Satoshi Tani (Jikei University)

- S3-1 Information-guided Spine surgery: Current state and Future Perspective**
 Yong Eun Cho
 Spine and Spinal cord Institute, Department of Neurosurgery, Gangnam Severance Hospital,
 Yonsei University College of Medicine, Korea
- S3-2 Robotic application in Spine Surgery**
 Yoon Ha, Do Heum Yoon, Keung Nyun Kim, Seong Yi, Dong Ah Shin
 Department of Neurosurgery Spine and Spinal Cord Institute, Spine Research Lab
 Severance Hospital, College of Medicine, Yonsei University, Korea
- S3-3 O-arm navigation system using mini-screws for screw placement in craniocervical junction**
 Nobuyuki Shimokawa, Hidetoshi Sato, Keisuke Shirosaka, Chihiro Nakagawa
 Department of Neurosurgery, Tsukazaki Hospital
- S3-4 Anterior non-fusion image-guided surgery for cervical ossified posterior longitudinal ligament**
 Masahito Hara, Daisuke Umebayashi, Yuu Yamamoto, Nobuhisa Fukaya, Yasuhiro Nakajima
 Department of Neurosurgery and Spine and Peripheral nerve Center Inazawa Municipal Hospital
- S3-5 Usefulness of intraoperative cone beam CT in spinal surgery**
 Takashi Yagi¹⁾, Hiroaki Murayama¹⁾, Nobuo Senbokuya¹⁾, Tetsuya Okuhara¹⁾, Kouji Hashimoto¹⁾
 Hideyuki Yoshioka¹⁾, Kazuya Kanemaru¹⁾, Toru Horikoshi²⁾, Hiroyuki Kinouchi¹⁾
¹⁾Departemnt of Neurosurgery, University of Yamanashi
²⁾Nishijima Hospital
- S3-6 Spinal pedicle screw insertion method with screw-guide template system : clinical studies and the future prospects**
 Taku Sugawara¹⁾, Naoki Higashiyama¹⁾, Takuro Endo¹⁾, Shuichi Kaneyama²⁾, Masato Takabatake²⁾
 Masatoshi Sumi²⁾, Junta Moroi¹⁾, Tatsuya Ishikawa¹⁾
¹⁾Department of Spinal Surgery and Neurosurgery, Instutute for Brain and Blood Vessels
²⁾Department of Orthopedic Surgery, Kobe Rosai Hospital

- S3-7 Usefulness of pediguard for safety and accuracy for lateral mass screw placement of C1**
 Hiroto Kageyama, Tomoko Iida, Kazutaka Uchida, Shinichi Yoshimura
 Hyogo College of Medicine, Department of Neurosurgery
- S3-8 The learning curve of robotic-assist system applications in spine surgery : the single centre experience in Taiwan**
 Chih-Hui Chang^{1,3)}, Yu-Feng Su^{1,3)}, Tai-Hsin Tsai^{2,3)}, Chieh-Hsin Wu^{2,3)}, Keng-Liang Kuo^{2,3)}
 Chih-Lung Lin^{1,2,3)}
¹⁾ Graduate Institute of Clinical Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan
²⁾ Graduate Institute of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan
³⁾ Department of Neurosurgery, Kaohsiung Medical University Hospital, Taiwan

11:05-11:40 Meritorious Award lecture
 Chairmen : Kenji Ohata (Osaka City University)
 Masanori Ito (Juntendo University Urayasu Hospital)

Introduction

Hiroshi Nakagawa
 Kushiro Kojinkai Memorial Hospital, Director of Spine Center

- MAL-1 Radiofrequency Nucleoplasty For The Soft Cervical Disc Herniations**
 Young Soo KIM^{1,2)},
¹⁾ Yonsei University, College of Medicine
²⁾ Thomas Hospital (Kim Young Soo Hospital), Korea

- MAL-2 Microanatomical Consideration of Lumbosacral Extraforaminal Stenosis**
 Jung Keun Suh^{1,2)}
¹⁾ Department of Neurosurgery, Korea University College of Medicine, Seoul, Korea
²⁾ Spine Center, ChungDahm Cham TnTn Hospital, Korea

14:40-16:10 International plenary symposium
Spine Surgery in clinical neurosurgery: Division and Integration for the Future
 Chairmen : Yong-Eun Cho (Gangnam Severance Hospital)
 Phyo Kim (Dokkyo University Hospital)
 Kenji Ohata (Osaka City University)

- IPS-1 Laminectomy and Fusion for Advanced and Multilevel Cervical Stenotic Myelopathy (CSM)**
 Abdul Hafid Bajamal, Muhammad Faris, Eko Agus Subagio
 Divison of Neuro-Spine , Dept.Neurosurgery , Dr Sutomo General Hospital Medical Faculty of Airlangga University, Indonesia

IPS-2 Incremental cost effectiveness ratio (ICER) between surgical methods for lumbar herniated intervertebral disc disease: Nation-wide cohort study

Chun Kee Chung^{1,2,3,4,5}, Chi Heon Kim^{1,2,3,4}, Myo Jeong Kim⁶, Yunhee Choi⁷, Min-Jung Kim⁷
Seokyoung Hahn⁸, Sukyoun Shin⁹, Jun Ho Lee¹⁰

¹Department of Neurosurgery, Seoul National University Hospital, South Korea

²Department of Neurosurgery, Seoul National University College of Medicine, South Korea

³Neuroscience Research Institute, Seoul National University Medical Research Center, South Korea

⁴Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, South Korea

⁵Department of Brain and Cognitive Sciences, Seoul National University Hospital, South Korea

⁶Health Insurance Review and Assessment Research Institute, Health Insurance Review and Assessment Service, Korea

⁷Division of Medical Statistics, Medical Research Collaborating Center, South Korea

⁸Department of Preventive Medicine, South Korea

⁹Department of Customer Supporting Team, Samsung life insurance, South Korea

¹⁰Department of Neurosurgery, Kyung Hee University medical center, Kyung Hee University school of medicine, Korea

IPS-3 Spine Surgery in Clinical Neurosurgery: Division and Integration for the Future

Cheng-Hsing Kao

Jhong Jheng spine Orthopedic Hospital

IPS-4 Surgical education and training in spine

- Preoperative simulation using multimodality fusion image

Hiroyuki Nakase, Yasuhiro Takeshima, Ichiro Nakagawa, Fumihiko Nishimura, Yasushi Motoyama
Young-Su Park

Department of Neurosurgery, Nara Medical University, Japan

IPS-5 Spinal injuries in Nepal

KRISHNA SHARMA

Department of Neurosurgery, Nepal Medical College, Nepal

16:10-17:10

Scientific session 20

Lumbar spine 4

Chairmen : Se-Hoon Kim (Ansan Hospital)

Yasunobu Itoh (Tokyo General Hospital)

A2-9 Surgical managements of PLIF with PS for Lumbar spondylolisthesis.

Motoi Shoda, Koichiro Yoshida, Yasuhiro Yamamoto

Department of Spinal Surgery, Yachiyo Hospital

A2-10 How degree do we need in vivo screw insertion torque to prevent postoperative screw loosening in posterior instrumented lumbar fixation?

Toshiyuki Takahashi, Junya Hanakita, Manabu Minami, Yasufumi Ohtake, Yatsuhi Sasaki
Yuya Koyanagi

Fujieda Heisei Memorial Hospital Spinal Disorders Center

- A2-11 Limitation of CBT for decompressive PLIF for degenerative lumbar scoliosis**
 Jun Muto¹⁾, Shunji Asamoto^{2,3)}, Fumitaka Yoshioka²⁾, Kazuhiro Samura^{2,3)}, Kimiyasu Sakurai^{2,3)}
 Satoshi Nakamura³⁾, Masatou Kawashima²⁾
¹⁾Service de Neurochirurgie, Centre Hospitalier Sainte-Anne, Universite Paris Descartes
²⁾Department of Neurosurgery, Mita Hospital, International University of Health and Welfare, School of medicine
³⁾Spine and Spinal cord Center Mita Hospital, International University of Health and Welfare, School of medicine
- A2-12 Surgical management by fusion-stabilization technique for elderly patients with lumber degenerative lesions**
 Kento Takebayashi, Motoo Kubota, Masahito Yuzurihara, Hitoshi Aiyama, Kazunori Kihara
 Yuki Takano, Shigekuni Tachibana
 Department of Spinal Surgery, Kameda Medical Center
- A2-13 The comparison of the outcome between bilateral decompression through unilateral laminotomy and muscle-preserving interlaminar decompression**
 Kazuyoshi Tamura, Manabu Sasaki, Masashi Umegaki
 Iseikai Hospital, Section of Spinal surgery
- A2-14 Does the Dynesys system slow down the degenerative process in the adjacent segments in comparison with rigid fixation system?**
 Wei-Yu Lee¹⁾, Ji-Di Hong²⁾
¹⁾Neurosurgical department, Lee's general hospital, ²⁾Radiologic department, Lee's general hospital
- A2-15 Short Term Outcome of Lumbar Discectomy by Multiple Level Fenestration Technique in Lumbar Disc Prolapse**
 Yoyok Subagio^{1,2)}, Wiryawan Manusubroto²⁾
¹⁾Medical Faculty of Gadjah Mada University Yogyakarta,
²⁾Departement of Neurosurgery, Sarjito General Hospital Yogyakarta
- A2-16 Cortical Bone Trajectory Screw Fixation of Lumbar Spinal Fusion Surgery Using 3-D Printing Patient-Specific Drilling Plate**
 Hsiung-Ming Huang, Der-Cherng Chen, Chao-Hsuan Chen, Der-Yang Chou
 Department of Neurosurgery China Medical University Hospital

8:20-9:15

Scientific session 21

Cervical spine-OPLL

Chairmen : Jae Taek Hong (St. Vincent' s Hospital, Catholic University)
Toshihiro Takami (Osaka City University)

- B2-1 Surgical strategy for cervical OPLL: Selection of various surgical methods for patients' satisfactionsurgical strategy for cervical OPLL: Selection of various surgical methods for patients' satisfaction**
Masakazu Takayasu, Masahiro Aoyama, Masahiro Joko, Mikinobu Takeuchi
Department of Neurological Surgery,Aichi Medical University
- B2-2 Temporal change of off- bone part in Multilevel cervical oblique corpectomy**
Kenji Takahashi, Keiichi Iseda, Masaaki Nakajima
Department of Neurosurgery, Okayama Saiseikai General Hospital
- B2-3 Combined anterior and posterior cervical fusion surgery : Surgical indication and early surgical outcome**
Yuta Tanoue¹⁾, Kentaro Naito¹⁾, Toshihiro Takami¹⁾, Toru Yamagata²⁾, Saya Koh¹⁾, Kenji Ohata¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine
²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital
- B2-4 Cervical laminoplasty may be selected as the first option for treatment of cervical OPLL with an occupying ratio 60% or more in elderly patients**
Yoshifumi Kawanabe, Motoaki Fujimoto, Junya Shibata, Tsukasa Sato
Department of Neurosurgery, Shizuoka General Hospital
- B2-5 Impact of posterior cervical decompressive surgeries for ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL) on cervical spine alignment: Cervical laminoplasty versus cervical laminectomy and fusion**
Jun Jae Shin, Jae Cheon Yu, Seung Ho Yoo
Department of Neurosurgery, Sanggye Paik Hospital, Inje University College of Medicine,Korea
- B2-6 The effect of facet violation and hinge fusion on neck pain in OPLL patients after laminoplasty**
Jongjoo Lee, Do Heum Yoon, Keung Nyun Kim, Yoon Ha, Seong Yi, Dong Ah Shin
Department of Neurosurgery, Yonsei University College of Medicine, Korea
- B2-7 Relationship between T1 slope and loss of lordosis after laminoplasty in patients with OPLL**
Keung Nyun Kim, Do Heum Yoon, Yoon Ha, Seung Yie, Dong Ah Shin, Byeongwoo Kim
Severance Hospital

9:15-10:10

Scientific session 22

Cervical spine 7

Chairmen : Kyoung-Suok Cho (Uijeongbu St. Mary' s Hospital)
Ryu Kurokawa (Dokkyo Medical University)

B2-8 Anterior Cervical Discectomy and Fixation with Bone Cement: A Technology in a Developing Country

Prabin Shrestha¹⁾, Anish Man Singh¹⁾, Samantha Tamrakar²⁾

¹⁾B&B Hospital, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

²⁾Department of Neurosurgery Osaka City University Graduate School of Medicine

B2-9 The advantage and disadvantage of anterior foraminotomy

Sadahiro Maejima¹⁾, Takahumi Nagaoka²⁾, Shoshi Sato²⁾, Atsuo Yosino²⁾, Koichiro Sumi²⁾

¹⁾Department of Neurological Surgery, National Hospital Organization Saitama National Hospital

²⁾Department of Neurological Surgery, Nihon University School of Medicine

B2-10 Evaluation for anterior cervical discectomy and fusion with PEEK cervical interbody spacer with integrated fixation screws

Shigeharu Fukao, Minoru Kidooka, Takahiro Isozumi, Hidehiko Lee, Sayaka Ito

Kyoto okamoto memorial hospital

B2-11 Surgical policy for elderly patients with degenerative cervical spondylosis

Kazunari Kogure¹⁾, Toyohiko Isu²⁾, Akio Morita¹⁾

¹⁾Department of Neurological surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan

²⁾Department of Neurological surgery, Kushiro rosai hospital

B2-12 Measurement method of uncinete process resection(UPR) and correlation between UPR and cervical instability in ACDF

Jong Uk Hwang, Dong Wuk Son, Chi Hyung Lee, O Ik Kwon, Geon Sang Lee, Su Hun Lee

Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Sang Weon Lee, Geun Sung Song

Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

B2-13 Comparison of Radiologic Outcomes of Three Different Methods in Single-level ACDF; Stand-alone cage versus PEEK-titanium combined anchored cage versus Anterior Cervical Plate Fixation.

O Ik Kwon, Dong Wuk Son, Chi Hyung Lee, Geon Sang Lee, Jong Uk Hwang, Su Hun Lee

Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Sang Weon Lee, Geun Sung Song

Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

B2-14 The Predictable Factors of the Postoperative Kyphotic Change of Sagittal Alignment of the Cervical Spine after the Laminoplasty

Chi Hyung Lee, Dong Wuk Son, Jong Uk Hwang, O Ik Kwon, Geon Sang Lee, Su Hun Lee

Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Sang Weon Lee, Geun Sung Song

Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

10:10-11:00
Cervical spine 8

Scientific session 23

Chairmen : Joo-Kyung Sung (Kyungpook National University Hospital)
Tetsuya Morimoto (Takai hospital)

- B2-15 Is there a limit to the treatment of the elderly cervical degenerative disease**
Shinsuke Suzuki, Tomoo Inoue, Kensuke Murakami, Hiroshi Uenohara
Dept. of Neurosurgery, Sendai Medical Center
- B2-16 Anterior fusion surgery for the elderly: Analysis of 40 cases**
Ryohei Takaha, Sho Fujiwara, Yuichiro Ohnishi, Koichi Iwatuki, Haruhiko Kishima
Osaka University Graduate School of medicine, Department of Neurosurgery
- B2-17 Hybrid cage technique for Cervical Anterior fusion**
Koichiro Yoshida, Yasuhiro Yamamoto, Motoi Shoda
Department of Spinal Surgery, Yachiyo Hospital
- B2-18 Usefulness of dynamic X-rays at postoperative 3 months to predict bone union in anterior cervical discectomy and fusion**
Won Heo^{1,2,3}, Chun Kee Chung^{1,2,3,4,5}, Chi Heon Kim^{1,2,3,4}, Seil Sohn^{6,7}, Jung Hyeon Moon^{1,2,3}
¹Department of Neurosurgery, Seoul National University Hospital, Korea
²Neuroscience Research Institute, Seoul National University Medical Research Center, Korea
³Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, Korea
⁴Department of Neurosurgery, Seoul National University College of Medicine, Korea
⁵Department of Brain and Cognitive Sciences, Seoul National University College of Natural Sciences, Korea
⁶Department of Neurosurgery, Bundang CHA Medical Center, Korea
⁷Department of Neurosurgery, CHA University College of Medicine, Korea
- B2-19 ACDF with autobone & plate fixation for 3 or 4 level degenerative disc diseases ; consequence of the cervicothoracic junction involvement**
Woo-Keun Kwon, Youn-Kwan Park
Department of Neurosurgery, Korea University Guro Hospital, Korea University College of Medicine, Seoul
- B2-20 Clinical and Radiological Consequences after Multilevel Cervical Total Disc Replacement: Defining Radiological Changes Predicting Surgical Outcomes.**
JUN HO LEE¹, JUNG HWAN LEE²
¹KYUNG HEE UNIVERSITY MEDICAL CENTRE SEOUL-KOREA, SOUTH
²SPINE HEALTH WOORIDUL HOSPITAL SEOUL-KOREA, SOUTH
- B2-21 Anterior Cervical Transcorporeal Approach : Results over 2 years Follow-Up Period**
Jayhak Kim, YH Jun, TW Yoo, KH Sung
Neurosurgery Department, 21st Century Spine Hospital Bucheon, Korea

16:10-16:55
Peripheral nerve

Scientific session 24

Chairman : Hsien-Ta Hsu (Taipei Tzuchi Hospital)
Masaaki Takeda (Hiroshima University)

- B2-22 Superior cluneal nerve entrapment neuropathy as a common cause of LBP**
Kyongsong Kim¹, Toyohiko Isu², Daijiro Morimoto³, Rinko Kokubo¹, Naotaka Iwamoto⁴
Juntaro Matsumoto², Akio Morita³
¹Superior cluneal nerve entrapment neuropathy as a common cause of LBP
²Department of Nurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, ³Department of Nurosurgery, Nippon Medical School
⁴Department of Nurosurgery, Teikyo University
- B2-23 Diagnosis and postoperative evaluation of thoracic outlet syndrome by F-wave**
Masaaki Takeda, Satoshi Yamaguchi, Kaoru Kurisu
Department of Neurosurgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University
- B2-24 A case of cervical disc hernia with posterior interosseous nerve palsy, double crush syndrome**
Atsushi Sugawara¹, Daiya Ishigaki^{1,2}, Toyohiko Isu³, Kuniaki Ogasawara¹
¹Department of Neurosurgery, Iwate medical university
²Department of Neurosurgery, Kaduno Kosei Hospital
³Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital
- B2-25 A case of brachial plexus schwannoma excised with sternocleidomastoid muscle approach under thoracoscopic assist**
Yasuhiro Hamada, Shunya Tanaka
Department of Neurosurgery, Yamaguchi Redcross Hospital
- B2-26 Correlation between Lumbar Lordosis and the Treatment of Chronic Low Back Pain with Pulsed Radiofrequency Applied to the L2 Dorsal Root Ganglion**
Hsien-Ta Hsu¹, Shang-Jen Chang², Kuo-Feng Huang¹, Po-An Tai¹, Tin-Chou Li¹, Chun-Jen Huang³
¹Division of Neurosurgery, Taipei Tzuchi Hospital, The Buddhist Tzuchi Medical Foundation, Taiwan
²Department of Surgery, Taipei Tzuchi Hospital, The Buddhist Tzuchi Medical Foundation, Taiwan
³Department of Anesthesiology, Taipei Tzu Chi Hospital, The Buddhist Tzuchi Medical Foundation, Taiwan
- B2-27 Digital Neuralgia Associated with Plantar Transverse Arch and Coronal Balance - Advocacy of the Concept of pTAS**
Motoyuki Iwasaki¹, Yasuhiro Chiba², Sayo Yonehana³, Kiyohiro Houkin⁴
¹Neurosurgical Department, Otaru General Hospital
²Neurosurgical Department, Hokkaido Noshinkeigeka Memorial Hospital
³Rehabilitation Department, Otaru General Hospital
⁴Neurosurgical Department, Hokkaido University Hospital

8:20-9:10

Scientific session 25

Technique & Instrumentation

Chairman : Sang Gu Lee (Gachon University, Gil Medical Center)
Yusuke Nishimura (Nagoya University)

- C2-1 Risk factors for complications associated with pedicle subtraction osteotomy**
Tetsuryu Mitsuyama, Takeshi Umebayashi, Kaiji Ota
Shinagawa Shishoukai Hospital
- C2-2 Conversion of pedicle screwing technic from open to percutaneous method**
Takeshi Aoyama, Naoshi Obara
Spine Center, Department of Orthopaedic Surgery, Teine Keijinkai Hospital
- C2-3 Long percutaneous pedicle screw fixation extending more than 5 vertebrae**
Masayoshi Ohi¹⁾, Naoto Andou¹⁾, Yuko Nakashima¹⁾, Noriaki Fukuhara²⁾
¹⁾Seirei Numazu Hospital
²⁾Fiji Toranomom Orthopaedic Hospital Spine Center
- C2-4 Mini-open osteotomy for adult spine deformity: How to operate?**
Takeshi Umebayashi, Testuryu Mitsuyama, Kiyoshi Kumano
Shinagawa Shishokai Hospital
- C2-5 Minimally invasive spinal instrumented fusion surgery with Wiltse approach and its future development**
Yusuke Nishimura, Toshiki Fukuoka, Kaoru Eguchi, Satoshi Yoshikawa, Ryo Ando
Takayuki Awaya, Toshihiko Wakabayashi
Department of Neurosurgery, Nagoya University
- C2-6 Corrective Osteotomy for Lumbar Flatback Deformity with Sagittal Imbalance**
Sung-Min Kim
Kyung Hee Spine Center Kyung Hee University Hospital at Gangdong Kyung Hee University, Korea
- C2-7 Clinical application of PSLD (Percutaneous Stenoscopic Lumbar Decompression) in degenerative lumbar spine diseases.**
Kang Taek Lim
GD Teun Teun Hospital, Korea, Republic Of

9:10-10:00

Scientific session 26

Complication avoidance

Chairmen : Kwan Ho Park (VHS Medical Center)
Han Soo Chang (Saitama Medical University)

C2-8 Effects of Exposure to radiation on the Sex of a child

Yasukazu Hijikata¹⁾, Yuichi Takahashi¹⁾, Susumu Sasada¹⁾, Kengo Hirota¹⁾, Shohei Okamoto¹⁾
Kenki Nishida²⁾

¹⁾ Department of Spine and Spinal Surgery, Shinkomonji Hospital

²⁾ Department of Spine and Spinal Surgery, Shintakeo Hospital

C2-9 Radiation exposure during spinal fusion surgery in hybrid operation room

Christian Bohoun¹⁾, Kentaro Naito¹⁾, Toru Yamagata²⁾, Toshihiro Takami¹⁾, Kenji Ohata¹⁾

¹⁾ Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan

²⁾ Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital, Japan

C2-10 Perifascial areolar tissue graft for spinal dural repair with cerebrospinal fluid leakage

Ken Matsushima^{1,2)}, Ryo Hashimoto²⁾, Masahide Gondo³⁾, Hirokazu Fukuhara²⁾, Michihiro Kohno¹⁾
Hiroyuki Jimbo²⁾

¹⁾ Department of Neurosurgery, Tokyo Medical University

²⁾ Department of Neurosurgery, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center

³⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center

C2-11 Can preoperative positioning simulation prevent post operative positioning related complications in the spine surgery?

Hitoshi Yamahata¹⁾, Masanao Mori¹⁾, Tadaaki Niiro¹⁾, Masanori Yonenaga¹⁾, Jun Sugata¹⁾
Tomohisa Okada¹⁾, Takaaki Hiwatari¹⁾, Satoshi Yamaguchi²⁾, Kazunori Arita¹⁾

¹⁾ Department of Neurosurgery, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University

²⁾ Department of Neurosurgery, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences

C2-12 What causes failed back surgery?

-An alarm for victim of modern imaging technology (VOMIT) syndrome-

Motoo Kubota, Masahito Yuzurihara, Kento Takebayashi, Yuki Takano, Kazunori Kihara
Shigekuni Tachibana

Department of Spinal Surgery, Kameda Medical Center

C2-13 Effects of Discontinuance of Preoperative Anti-Platelet Medication in Multi-level Thoracolumbar Spine Surgery.

Geon Sang Lee, Geun Sung Song, Chi Hyung Lee, O Ik Kwon, Jong Uk Hwang, Su Hun Lee
Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Dong Wuk Son, Sang Weon Lee, Soon Ki Sung

Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

C2-14 The Association of Perioperative Glycemic Control with Postoperative Infection following Lumbar Posterior Fusion in Patients with Diabetes

Geon Sang Lee, Geun Sung Song, Chi Hyung Lee, O Ik Kwon, Jong Uk Hwang, Su Hun Lee
Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Dong Wuk Son, Sang Weon Lee

Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

10:00-10:45

Scientific session 27

Pain

Chairmen : Jongjoo Lee (Yonsei University College of Medicine)
Gohsuke Hattori (Kurume University)

- C2-15 Extended DREZ-lesioning for alleviating intractable arm pain following brachial plexus avulsion injury**
Makoto Taniguchi, Keiuke Takai, Hirokazu Iwamuro
Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Department of Neurosurgery
- C2-16 A case of spinal cord stimulator implantation with partial laminectomy using tubular retractor**
Takuro Endo, Naoki Higashiyama, Taku Sugawara
Department of Spinal Surgery, Research Institute for Brain and Blood Vessels Akita
- C2-17 Cervical degenerative index for the evaluation of tension type headache**
Masaki Yoshimura¹⁾, Toshihiro Takami²⁾, Yohei Onishi¹⁾, Shin Tsuruta¹⁾, Tsutomu Ichinose¹⁾
Takashi Tsuruno¹⁾
¹⁾The Department of Neurosurgery, Yao Tokushukai General Hospital
²⁾The Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduated School of Medicine
- C2-18 The factors complicating percutaneous electrodes placement of spinal cord stimulation**
Kyohei Kin, Takashi Agari, Takao Yasuhara, Akira Kusumegi, Yosuke Tomita, Michiari Umakoshi
Jun Morimoto, Tatsuya Sasaki, Isao Date
Department of Neurological Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences
- C2-19 Spinal Cord Stimulation Therapy for Patients with Post-Surgical Spine Syndrome**
Kwan Ho Park, Do Hyun Kim, Minki Kim, Tae Wan Kim
Department of Neurosurgery, VHS Medical Center, Korea
- C2-20 Effectiveness of Intrathecal Morphine Pump Procedure in Patients with Post-laminectomy Syndrome**
Kwan Ho Park, Do Hyun Kim, Minki Kim, Tae Wan Kim
Department of Neurosurgery, VHS Medical Center, Korea

8:00-8:55

Scientific session 28

Spinal tumors or vascular lesions

Chairmen : Chun Kee Chung (Seoul National University Hospital)
Hidetoshi Murata (Yokohama City University)

A3-1 Direct surgery to the intradural spinal vascular lesions

Izumi Koyanagi, Yasuhiro Chiba, Genki Uemori, Takahiro Sasaki, Hiroyuki Imamura
Masami Yoshino, Takeshi Aoki, Toshimitsu Aida
Department of Neurosurgery, Hokkaido Neurosurgical Memorial Hospital

A3-2 Investigation of posterolateral intermuscular approach for cervical ventrally located or dumbbell type tumors

Toshihiko Inui¹, Hiroya Morita¹, Noriaki Nagao¹, Yuuki Mukai², Dai Yamada², Masaaki Furube²
Kou Matsuda², Yoshiko Tominaga², Masahiko Kitano², Shinsuke Tominaga²
¹Spine center, Department of Neurosurgery, Tominaga Hospital, Japan
²Department of Neurosurgery, Tominaga Hospital, Japan

A3-3 Efficacy of high cervical lateral approach for spinal tumors of ventral or lateral location: Technical note

Samantha Tamrakar, Toshihiro Takami, Kentaro Naito, Toru Yamagata, Kenji Ohata
Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan

A3-4 Surgery of giant intramedullary spinal cord tumors

Hidetoshi Murata, Mitsuru Sato, Takahiro Tanaka, Ryohei Miyazaki, Takahiro Hayashi
Taishi Nakamura, Kensuke Tateishi, Ryo Matsuzawa, Jun Suenaga
Department of Neurosurgery, Yokohama City University Graduate School of Medical Sciences and School of Medicine

A3-5 Surgery for spinal hemangioblastoma

Takao Yasuhara¹, Yasuyuki Miyoshi², Akira Kusumegi¹, Yousuke Tomita¹, Michiari Umakoshi¹
Kyohei Kin¹, Jun Morimoto¹, Atsuhiko Toyoshima¹, Susumu Sasada¹, Isao Date¹
¹Department of Neurological Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine
²Department of Neurosurgery, Kawasaki Medical University Medical Center

A3-6 Neurological recovery after surgical treatment for patients with metastatic spinal cord compression-induced Frankel C paralysis (non-ambulatory)

Kotaro Ogihara, Satoshi Murai, Kazuhiko Nishi, Hisakazu Itami, Shinji Otsuka, Noboru Kusaka
Tsukasa Nishiura
Department of Neurosurgery, National Hospital Organization Iwakuni Clinical Center

A3-7 Isolated Tuberculoma of foramen magnum and craniovertebral junction mimicking en-plaque meningioma

Manish Kolakshyapati, Satoshi Yamaguchi, Masaaki Takeda, Shingo Matsuda, Kaoru Kurisu
Department of Neurosurgery, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Japan

8:55-10:25

Symposium 4

Spinal tumors or vascular lesions: Challenges and Solutions

Chairmen : Young Soo KIM (Yonsei University, College of Medicine)

Kazutoshi Hida (Sapporo Azabu Neurosurgical Hospital)

- S4-1 Strategies for treating intramedullary cavernous angioma**
Minoru Hoshimaru, Shigeo Ueda, Nobuhiro Sasaki, Hiroaki Manabe, Miyuki Fukuda
Shin-aikai Spine Center
- S4-2 Special considerations in spinal tumor surgery**
Yung-Hsiao Chiang
Department of Neurosurgery Taipei Medical University Hospital, Taipei Medical University, Taiwan
- S4-3 Surgery of ventral intradural thoracic spinal lesions with a posterolateral transpedicular approach**
Kiyoshi Ito, Tatsuro Aoyama, Yoshinari Miyaoka, Tetsuyoshi Horiuchi, Kazuhiro Hongo
Department of Neurosurgery, Shinshu University School of Medicine
- S4-4 Benefits and limitations of Indocyanine green fluorescent image-Guided Surgery for Spinal Intramedullary Tumors**
Toshihiro Takami¹⁾, Kentaro Naito¹⁾, Toru Yamagata²⁾, Kenji Ohata¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan
²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital, Japan
- S4-5 Clinical experiences of giant cell tumors of the spine after treatment with denosumab**
Keung Nyun Kim¹⁾, Byeongwoo Kim^{1,2)}, Do Heum Yoon¹⁾, Yoon Ha¹⁾, Seong Yi¹⁾, Dong Ah Shin¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Spine and Spinal Cord Institute, Yonsei University College of Medicine, Korea
²⁾Champodonamu Neuroscience Institute, Consortium for Translational Research, Champodonamu Hospital, Korea
- S4-6 Endovascular treatment for spinal epidural arteriovenous fistulas**
Yasunari Niimi¹⁾, Shinsuke Sato^{1,2)}, Tatsuya Inoue^{1,2)}, Kentaro Kuwamoto^{1,2)}, Yosuke Moteki^{1,2)}
Shogo Shima²⁾, Yoshikazu Okada²⁾, Yoshikazu Yoshino³⁾, Kazunori Miki³⁾, Shigeru Nemoto³⁾
¹⁾Department of Neuroendovascular Therapy, St. Luke's International Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, St. Luke's International Hospital, ³⁾Department of Endovascular Surgery
- S4-7 Surgical treatment of spinal AVM**
Toshiki Endo¹⁾, Hidenori Endo¹⁾, Kenichi Sato²⁾, Kuniyasu Niizuma³⁾, Yasushi Matsumoto²⁾
Teiji Tominaga³⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kohnan hospital
²⁾Department of Neuroendovascular therapy, Kohnan Hospital
³⁾Department of Neurosurgery, Tohoku University

10:25-11:55

Symposium 5

Aging Spine: Challenges and Solutions

Chairmen : Jung Keun SUH (Korea University College of Medicine)

Toshiyuki Takahashi (Fujieda Heisei Memorial Hospital)

- S5-1 Prognosis of osteoporotic vertebral fracture and its treatment strategy**
Hiroaki Nakamura, Hidetomi Terai, Masatoshi Hoshino, Hiromitsu Toyoda, Akinobu Suzuki
Shinji Takahashi, Kenntarou Yamada
Department of Orthopaedic Surgery Osaka City University Graduate School of Medicine
- S5-2 Feasibility of Expandable Cage for Vertebral Body Reconstruction via Single-Stage Posterior Approach in Unstable Thoracolumbar Spine Fractures**
Se-Hoon Kim, Seung-Hwan Lee, Sung-Won Jin, Won-Hyung Kim, Bum-Joon Kim
Department of Neurosurgery, Ansan Hospital, Korea University College of Medicine, Korea
- S5-3 Long-term (minimum 10 years) clinical and radiologic results in single level degenerative lumbar stenosis with posterior dynamic stabilization**
Sang Gu Lee, Tae-Kyoo Lim, Yong Ahn, Seong Son, Tae Seok Jeong
Department of Neurosurgery, Gachon University, Gil Medical Center, Korea
- S5-4 The selection of open or percutaneous endoscopic lumbar discectomy according to an age cut- off point: national-wide cohort study.**
Jong-myung Jung¹⁾, Chi Heon Kim¹⁾, Chun Kee Chung¹⁾, Yunhee Choi²⁾, Sukyoun Shin³⁾
Myo Jeong Kim³⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Seoul National University Hospital
²⁾Medical Research Collaboration Center, Seoul National University Hospital
³⁾Health Insurance Review and Assessment Service, Korea
- S5-5 Treatment of symptomatic lumbar internal disc disruption with DIAM implantation**
Kang Lu, Po-Chou Liliang, Hao-Kuang Wang
Department of Neurosurgery, E-Da Hospital, College of Medicine, I-Shou University, Taiwan
- S5-6 Surgical treatment of cervical disc disease for elderly patients**
Hideki Tanabe, Tomohisa Omura, Kouji Takeuchi, Yumiko Komori
Department of Neurosurgery, Tanabe Neurosurgical Hospital
- S5-7 Surgical strategy for degenerative lumbar spinal diseases in elderly patients.**
Shuji Sato¹⁾, Takaaki Iida¹⁾, Jiro Yamamoto¹⁾, Tsuyoshi Tsukada¹⁾, Fumihiko Takeuchi¹⁾
Nobutaka Yamamoto¹⁾, Hideaki Iizuka²⁾
¹⁾Kanazawa neurosurgical hospital, ²⁾Kanazawa medical university, neurosurgical department

13:10-14:30**Spine scientific symposium**

Chairmen : Izumi Koyanagi (Hokkaido Neurosurgical Memorial Hospital)
Makoto Taniguchi (Tokyo Metropolitan Neurological Hospital)

- R-1 How we can strengthen function of residual spinal circuit after spinal cord injury**
Yukio Nishimura
Neural Prosthesis Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science
- R-2 A novel correction method of intraoperative spinal cord monitoring using facial MEP**
Ryuta Matsuoka, Yasuhiro Takeshima, Ichiro Nakagawa, Fumihiko Nishimura, Yasushi Motoyama
Young-Soo Park, Hiroyuki Nakase
The Department of Neurosurgery, Nara Medical University, Japan
- R-3 Preoperative rehabilitation in olfactory mucosa autograft: report of 10 cases**
Ryohei Takaha, Sho Fujiwara, Yuichiro Ohnishi, Koichi Iwatsuki, Haruhiko Kishima
Osaka University Graduate School of Medicine, Department of Neurosurgery
- R-4 FA values increased by compression~ high accuracy evaluation of anisotropy using Zoom DTI**
Motoyuki Iwasaki¹⁾, Takumi Yokohama²⁾, Daisuke Ooura²⁾, Shou Furuya²⁾, Tatsuo Ihara³⁾
¹⁾Neurosurgical Department, Otaru General Hospital, Japan
²⁾Radiological department, Otaru General Hospital, Japan
³⁾Neurological department, Otaru General Hospital, Japan
- R-5 Alternation of brain network caused by spinal decompression surgery**
Masahiro Sawada, Naoki Matsumoto, Toshihiro Munemitsu, Masato Hojo
Department of Neurosurgery, Shiga Medical Center for Adults

14:30-15:50**Symposium 6****Minimally invasive spine surgery: Current State and Future Perspective**

Chairmen : Jun Ho Lee (Kyung Hee University Medical Centre)
Masakazu Takayasu (Aichi Medical University)

- S6-1 The foraminoscope: The surgical characteristics in water and the microscopic anatomy of the vertebral foramen**
YASUHIKO NISHIMURA¹⁾, AKI SHINTANI¹⁾, KENJI KUBO¹⁾, JYUNICHI MIZUNO²⁾
¹⁾Spinal surgery centre, Department of Neurosurgery, Wakayama KOYO Hospital, Japan
²⁾Less invasive spinal surgery centre, Shinyurigaoka general hospital, Japan
- S6-2 A skeptic reflection on endoscopic lumbar discectomy**
Yoshitaka Hirano¹⁾, Yukoh Ohara²⁾, Junichi Mizuno²⁾, Shinichi Numazawa³⁾, Yasunobu Itoh³⁾
Sadayoshi Watanabe³⁾, Kazuo Watanabe^{1,2,3)}
¹⁾Spine Section, Department of Neurosurgery, Southern TOHOKU Research Institute for Neuroscience
²⁾Department of Spine and Peripheral Nerve Surgery, Shin-Yurigaoka General Hospital
³⁾Department of Neurosurgery, Tokyo General Hospital

- S6-3 Results of more than 3 years after less invasive posterior decompression alone for severe unstable degenerative lumbar spondylolisthesis with preoperative translation of more than 5mm**
 Toshihiko Inui¹⁾, Hiroya Morita¹⁾, Noriaki Nagao¹⁾, Yuuki Mukai²⁾, Dai Yamada²⁾, Masaaki Furube²⁾
 Kou Matsuda²⁾, Yoshiko Tominaga²⁾, Masahiko Kitano²⁾, Shinsuke Tominaga²⁾
¹⁾Spine center, Department of Neurosurgery, Tominaga Hospital, Japan
²⁾Department of Neurosurgery, Tominaga Hospital, Japan
- S6-4 Microsurgical foraminal decompression on degenerative lumbar scoliosis. Long-term outcome and the influence of the degree of preoperative scoliosis**
 Han Soo Chang, Keisuke Nagata, Haruo Gotoh, Daijun Hana, Shinsuke Yoshida, Soichi Oya
 Toru Matsui
 Saitama Medical University
- S6-5 BESS(Biportal Endoscopic Spinal Surgery) for spinal stenosis expanding guideline of endoscopic spine surgery**
 Chang M Choi
 Dangjin St. Mary's Hospital, South Korea
- S6-6 Endoscopic posterior cervical foraminotomy using newly designed large bore endoscope. (8.4mm of outer diameter and 5.7mm of inner diameter)**
 Daewon Joh, Dong Geun Kim, Geun Chang Kim, Jung Tae Oh
 Cheonan Woori Hospital, Korea

15:50-16:40 Scientific session 29
Lumbar spine-LLIF
 Chairmen : Walid Attia (King Fahad Medical City)
 Toshihiko Inui (Tominaga Hospital)

- A3-8 Anterior reconstruction for elderly patients with vertebral compression fracture**
 Tetsuya Morimoto, Shigenori Minami, Yasushi Nagatomo, Toshisuke Sakaki
 Department of Neurosurgery, Takai hospital
- A3-9 Ingenuity in preoperative evaluation method and surgical procedure for conducting LIF+PPS safely**
 Shigeo Ueda, Miyuki Fukuda, Nobuhiro Sasaki, Masayuki Kuroda, Hiroaki Manabe
 Minoru Hoshimaru
 Shin-ai Spine Center
- A3-10 Safety and efficacy of Endoscope and Exoscope assisted anterior lumbar interbody fusion (ALIF).**
 YASUSHI SHIN, YUDAI MORISAKI, MIHO KAKUTANI, HIROMITU SASAKI
 TAKANORI FURUTA, MASAHIRO KISHI, TOSHITAKA INUI, RINSEI TEI, SYUTA AKETA
 TAIJI YONEZAWA
 The department of neurosurgery, Osaka Police Hospital

- A3-11 Review of OLIF surgery 50 cases**
Naoki Asami
Ikeda Hospital
- A3-12 Retropleural-peritoneal transpedicular decompression and short-level 360 degree reconstruction of unstable compressive deformity at T-L junction: technical report**
Hong Joo Moon, Wong-Bae Park, Woo-keun Kwon, Youn-kwon Park
Korea University Guro Hospital, Neurospine Center
- A3-13 Outcomes of Oblique Lateral Interbody Fusion for Degenerative Lumbar Disease in Patients Under or Over 65 Years of Age**
Jin-Sung Kim, Cheng-Zhen Jin, Hyun-Jin cho, Guang-Xun Lin, Kyeong-Sik Ryu, Jung-Woo Hur
Department of Neurosurgery, Seoul St. Mary' s Hospital, College of Medicine, The Catholic University of Korea, South Korea
- A3-14 Oblique lumbar interbody fusion(OLIF), it' s versatility in adjacent segmental diseases**
Daewon Joh, Dong Geun Kim, Geun Chang Kim, Jung Tae Oh
Cheonan Woori Hospital, Korea

8:00-8:45

Scientific session 30

Cervical/Thoracic spine

Chairmen : Prabin Shrestha (B& B Hospital)
Motoi Shoda (Yachiyo Hospital)

- B3-1 Evaluation for patients with serious myelopathy caused by thoracic ossification of ligamentum flavum (TOLF)**
Kimio Anzai¹⁾, Yasufumi Ohtake²⁾, Takahito Fukui²⁾, Hirohiko Nakamura²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kitahiroshima Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, Nakamura Memorial Hospital
- B3-2 Relationship between radiological outcomes and BMD based on lumbar vertebrae in single-level anterior cervical discectomy and fusion**
O Ik Kwon, Dong Wuk Son, Chi Hyung Lee, Geon Sang Lee, Jong Uk Hwang, Su Hun Lee
Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Sang Weon Lee, Geun Sung Song, Soon Ki Sung
Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea
- B3-3 Usefulness of Ultrasonic Osteotome for Reducing Perioperative Complications of Cervical Open-Door Laminoplasty**
Seung-Hwan Lee, Se-Hoon Kim, Bum-Joon Kim, Sung-Won Jin, Won-Hyung Kim, Sung-Kon Ha
Sang-Dae Kim, Dong-Jun Lim
Department of Neurosurgery, Korea University Ansan Hospital, Korea
- B3-4 Spinal Cervical Surgery Cases in Cipto Mangunkusumo National Hospital, University Hospital of Universitas Indonesia, Jakarta**
Jeremia Pardede¹⁾, Mohamad Saekhu²⁾, David Tandian³⁾, Syaiful Ichwan⁴⁾, Samsul Ashari⁵⁾
¹⁾Resident of Neurosurgery, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
²⁾Consultant, Division of Spinal, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
³⁾Consultant, Division of Functional, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
⁴⁾Consultant, Division of Oncology, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
⁵⁾Head of Department, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
- B3-5 Spinal Thoracal Surgery Cases in Cipto Mangunkusumo National Hospital, University Hospital of Universitas Indonesia, Jakarta**
Bismo Nugroho¹⁾, Mohamad Saekhu²⁾, Setyo Nugroho³⁾, Hanif Tobing⁴⁾, Samsul Ashari⁵⁾
¹⁾Resident of Neurosurgery, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
²⁾Consultant, Division of Spine, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
³⁾Consultant, Division of Vascular, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
⁴⁾Consultant, Division of Traumatology, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia
⁵⁾Head of Department, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University
- B3-6 A case of crystal-storing histiocytosis in spinal intradural extramedullary sites**
Yasuomi Nonaka¹⁾, Mutuhiro Tamura¹⁾, Fumihisa Isii¹⁾, Hiromasa Nagahari²⁾, Makoto Oono³⁾
¹⁾Department spinal surgery Heiwa Hospital
²⁾Department of Orthopaedic Surgery Ohasi Medical Centro Toho University School of Medicine
³⁾Department of Neurosurgery National Cancer Center Hospita

8:45-9:30

Scientific session 31

Cervical spine 9

Chairmen : Chi-Tun Tang (Tri-service General Hospital)

Taku Sugawara (Research Institute for Brain and Blood Vessels Akita)

B3-7 Analysis of symptomatic disorders in adjacent segment after anterior cervical interbody fusion

Masatoshi Yunoki, Takahiro Kanda, Kenta Suzuki, Koji Hirashita, Kimihiro Yoshino
Department of Neurosurgery, Kagawa Rosai Hospital

B3-8 Anterior cervical discectomy with fusion using CeSpace Xp

Tomoo Inoue¹⁾, Shinsuke Suzuki¹⁾, Toshiki Endo²⁾, Hiroshi Uenohara¹⁾, Teiji Tominaga³⁾

¹⁾Sendai Medical Center, Department of Neurosurgery, ²⁾Kohnan Hospital, Department of Neurosurgery

³⁾Tohoku University Graduate School of Medicine, Department of Neurosurgery

B3-9 Postoperative oropharyngeal complications after anterior cervical discectomy and fusion using a titanium stand-alone cage

Toru Yamagata¹⁾, Syugo Nishijima²⁾, Yuta Nakanisi²⁾, Kentaro Naito²⁾, Toshihiro Takami²⁾
Kenji Ohata²⁾

¹⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital

²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City University Hospital

B3-10 The Radiologic and Clinical results of Multilevel Anterior Cervical Discectomy and Fusion (ACDF) Using Standalone Synthetic Interbody Cages

Ju-Hwi Kim, Bong Ju Moon, Sang-Deok Kim, Jung-Kil Lee

Neurosurgery, Chonnam National University Hospital, Korea, Republic Of

B3-11 Estimated lower skeletal muscle mass by bioimpedance analysis is associated with functional impairment and physical disability.

Byeongwoo Kim^{1,2)}, Dong Youp Lee³⁾, Poong Gee Ahn³⁾, Su Yeon Heo³⁾, Do Heum Yoon²⁾

Dong Kyu Chin²⁾, Yoon Ha²⁾, Seong Yi²⁾, Dong Ah Shin²⁾, Keung Nyun Kim²⁾

¹⁾Champodonamu Neuroscience Institute, Consortium for Translational Research, Champodonamu Hospital, Korea

²⁾Department of Neurosurgery, Spine and Spinal Cord Institute, Yonsei University College of Medicine, Korea

³⁾Champodonamu Neuroscience Institute, Consortium for Translational Research, Champodonamu Hospital, Korea

B3-12 Comparison of the recovery period of ability to walk and micturition after complete paralysis due to a different spinal pathology: a case report

Mohamad Saekhu

Dept Neurosurgery Faculty of Medicine Universitas Indonesia

9:30-10:15 Scientific session 32

Craniovertebral junction 2

Chairmen : Sung Min Kim (Kyung Hee University Hospital)
Hideaki Iizuka (Kanazawa medical university)

B3-13 Surgical strategies for the various types of CVJ deformity

Jae Taek Hong

Department of Neurosurgery St. Vincent's Hospital, Catholic University of Korea

B3-14 C1 laminectomy without fusion for retro-odontoid pseudotumor

Nobuo Senbokuya, Takashi Yagi, Hiroaki Murayama, Tetsuya Okuhara, Kouji Hashimoto

Hideyuki Yoshioka, Kazuya Kanemaru, Hiroyuki Kinouchi

University of Yamanashi

B3-15 The novel technique of pedicle screw insertion at C2 vertebrae with persistent first intersegmental artery or fenestration of V3 segment

Nobuyuki Shimokawa, Hidetoshi Sato, Keisuke Shirosaka, Chihiro Nakagawa, Yuji Tsukazaki

Yoshihiko Fu

Department of Neurosurgery, Tsukazaki Hospital

B3-16 The surgical pitfalls of vascular anatomy at the cranio-cervical junction

Muneyoshi Yasuda, Mikiko Funai, Keisuke Ito, Nobuo Shirasaka, Makoto Negoro, Akihiro Miyasaki

Department of Neurological Surgery, Ichinomiya-Nishi Hospital

B3-17 Decompressive C1 laminectomy without posterior fusion in craniovertebral junction stenosis

UnYong Choi, Dal-Sung Ryu, Kyung-Hyun Kim, Jeong-Yoon Park, Sung-Uk Kuh, Dong-Kyu Chin

Keun-Su Kim, Yong-Eun Cho

Department of Neurosurgery, The Spine and Spinal Cord Institute, Gangnam Severance Hospital, Yonsei University College of Medicine

B3-18 Surgical points of Lag screw insertion in dens fracture: Single center experiences

Sang Deok Kim, Bong Ju Moon, Jae-Young Park, Jung-Kil Lee

Neurosurgery, Chonnam National University Hospital, Korea, Republic Of

10:15-11:15 Scientific session 33

Spinal basic research

Chairmen : Ming-Chao Huang (Taipei Veterans General Hospital)
Koichi Iwatsuki (Senboku Jinnai Hospital)

B3-19 Biomechanical analysis of cervical posterior fixation with bioabsorptive screw

Kyongsong Kim¹⁾, Toyohiko Isu²⁾, Rinko Kokubo¹⁾, Daijiro Morimoto³⁾, Naotaka Iwamoto⁴⁾

Takao Nakajima⁵⁾, Juntaro Matsumoto²⁾, Akio Morita³⁾

¹⁾Department of neurosurgery, Chiba Hokusou Hospital, Nippon Medical School

²⁾Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital

³⁾Department of Neurosurgery, Nippon Medical School

⁴⁾Department of Neurosurgery, Teikyo University

⁵⁾Department of Orthopedic surgery, Chiba Hokusou Hospital, Nippon Medical School

- B3-20 Quantification of green stick fracture ; Evaluation of hinge reaction force measurement and biomechanical stability in cervical laminoplasty**
Shigeo Ueda, Miyuki Fukuda, Nobuhiro Sasaki, Masayuki Kuroda, Hiroaki Manabe
Minoru Hoshimaru
Shin-ai Spine Center
- B3-21 Biomechanical comparison of interfragmentary compression pressure : Lag screw versus Herbert screw for anterior odontoid screw fixation**
Joo-Kyung Sung¹⁾, Dae-Chul Cho¹⁾, Kyoung-Tae Kim¹⁾, Seong-Hyun Park¹⁾, Ki-Woong Seong²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kyungpook National University Hospital
²⁾Department of Biomedical Engineering, Kyungpook National University Hospital
- B3-22 Feasibility of Bilateral Crossing C7 Intralaminar Screws: A Cadaveric Study**
Il Sup Kim, Jae Taek Hong, Jung Jae Lee, Jae Hoon Sung, Sang Won Lee
Department of Neurosurgery, St. Vincent's Hospital, The Catholic University of Korea
- B3-23 Effect of a bisphosphonate and selective estrogen receptor modulator on bone remodeling in streptozotocin-induced diabetes and ovariectomized rat model.**
Kyoung-Tae Kim¹⁾, Dae-Chul Cho¹⁾, Joo-Kyung Sung¹⁾, Young-Seok Lee²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kyungpook National University Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, Gyeongsang National University Hospital
- B3-24 Influence of rabbit notochordal cells on symptomatic intervertebral disc degeneration : Anti-angiogenic capacity on human endothelial cell proliferation under hypoxia**
Woo-Keun Kwon, Joo Han Kim
Department of Neurosurgery, Korea University Guro Hospital, Korea University College of Medicine
- B3-25 Biomechanical comparison of four different posterior fixation constructs used for C1-2 cervical spine immobilization : A finite element study**
Jinho Kim, Do Heum Yoon, Keung Nyun Kim, Seong Yi, Dong Ah Shin, Yoon Ha
Department of Neurosurgery, Yonsei University College of Medicine, Korea
- B3-26 Myofibroblast in the Ligamentum Flavum Hypertrophic Activity**
Junseok W Hur¹⁾, Junho K Hur²⁾, Jang-Bo Lee¹⁾, Ta-Hyoung Cho¹⁾, Jung-Yul Park¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, College of Medicine, Korea University, Korea
²⁾Stem Cell Institute, College of Medicine, Korea University, Korea

13:25-14:10

Scientific session 34

Aging spine 4

Chairmen : Keung Nyun Kim (Severance Hospital)

Gakuji Gondo (Shonankamakura General Hospital)

- B3-27 Surgical strategy for severe osteoporotic vertebral compression fracture in elderly patients**
YASUYUKI MIYOSHI¹⁾, HIROAKI MANABE²⁾, TAKAO YASUHARA³⁾, MIKI TANIGUCHI¹⁾
MANABU ONISHI¹⁾, TOSHINARI MEGURO¹⁾, SHIGEKI ONO¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kawasaki Medical School General Medical Center
²⁾Shin-aikai, Spine Center, ³⁾Department of Neurosurgery, Okayama University Graduate School

- B3-28 Surgical strategy and outcome for osteoporotic thoracolumbar vertebral fracture**
 Toshiyuki Takahashi, Junya Hanakita, Manabu Minami, Yasufumi Ohtake, Yatsuhi Sasaki
 Yuya Koyanagi
 Fujieda Heisei Memorial Hospital Spinal Disorders Center
- B3-29 The safety and feasibility of kyphoplasty with intravertebral reduction device for treating vertebral compression fracture with spinal canal encroachment**
 JIA-EN CHI, Jiann-Her Lin, Yung-Hsiao Chiang
 Department of neurosurgery of Taipei medical university hospital
- B3-30 Comparison of the Outcomes of Osteoporotic Vertebral Compression Fractures with an Intravertebral Cleft Treated Using Different Modalities in Elderly Patients**
 Seung Hwan Yoon, James Ki Shinn, Ji Yong Kim
 Departments of Neurosurgery, Inha University School of Medicine, Korea
- B3-31 Clinical comparison of investigation between CBT and PS**
 Eiichiro Honda¹⁾, Satoshi Nagase¹⁾, Tatsuya Tanaka²⁾, Nobuaki Momosaki²⁾
¹⁾Departement of Neurospinal surgery, Siroishikyoritsu Hospital
²⁾department of neurosugery , Imariaritakyoritsu hospital
- B3-32 Clinical Outcome of Obese and Elder Patients Following MIS-TLIF with NOVA Percutaneous Pedicle Screw System**
 Chang-Jung Chiang, Yueh-Ying Hsieh, Chia-Hsien Chen, Yang-Hwei Tsuang
 Department of Orthopaedics, Shuang Ho Hospital, Taipei Medical University, Taiwan

14:10-15:00	Scientific session 35
Aging spine 5	Chairmen : Seung Hwan Yoon (Inha University School of Medicine) Masahiro Kawanishi (Takeda general Hospital)

- B3-33 The availability of early balloon kyphoplasty to osteoporotic compression fracture**
 Yuki Takano, Motoo Kubota, Kento Takebayashi, Kazunori Kihara, Masahito Yuzurihara
 Shigekuni Tachibana
 Kameda General Hospital, the department of Spine Surgery
- B3-34 Diagnostic pitfalls of pelvic insufficiency fractures : Four case reports**
 Hidekazu Tanaka, Masahiro Kawanishi, Makoto Yamada, Kunio Yokoyama, Yutaka Ito, Akira Sugie
 Department of Neurosurgery, Ijinkai Takeda General Hospital, Japan
- B3-35 The effects of PSI in balloon kyphoplasty on the shape of cements.**
 Hiromasa Nagahari, Yoshiro Musha, Keisuke Ito, Youhei Ishimine, Sumito Kinjyo
 Spine and Spinal Cord Center, Toho University Ohashi Medical Center
- B3-36 Short-segment posterior fixation with percutaneous pedicle screws for acute thoracolumbar burst fracture**
 Shinnosuke Hattori, Yuich Ito, Osamu Suzuki, Masaaki Kimura
 Department of neurosurgery, Nagoya Ekisaikai Hospital

B3-37 Posterior vertebral replacement surgery using PMMA for osteoporotic unstable compression fracture with neurological symptoms

Yushi Sakamoto¹⁾, Akira Kusumegi⁴⁾, Akira Okamoto²⁾, Kengo Hirota²⁾, Yasukazu Hijikata²⁾
 Yuichi Takahashi²⁾, Takafumi Inoue³⁾, Kenki Nishida¹⁾

¹⁾Department of Spinal Disorders, Shin-Takeo Hosipital

²⁾Department of Spinal Disorders, Shin-Komonji Hosipital

³⁾Department of Spinal Disorders, Fukuoka Wajiro Hosipital

⁴⁾Department of Neurosrgery, Okayama University Graduate School of Medicine

B3-38 Posterior Spinal Shortening Osteotomy in Kümmell's Disease

Wonmo Gu, Jaeseung Han, Jung-ggi Chough, Jinwin Kwon
 St. Mary hospital

B3-39 Comparative Analysis about Posterior Fusion of Thoracolumbar Junction Fracture

Dong-Ha Kim¹⁾, Kyoung-Hyup Nam²⁾, Dongwuk Son¹⁾, Geunsung Song¹⁾

¹⁾Pusan National University Yangsan Hospital Korea, South

²⁾Pusan National University Hospital Korea, South

15:00-15:50

Scientific session 36

Lumbar spine 5

Chairmen : Il Sup Kim (St. Vincent's Hospital)
 Takao Yasuhara (Okayama University)

B3-40 Endoscopic surgery for multiple intervertebral lesion

-To make treatment more minimally invasive-

Nahoko Kikuchi, Jyunichi Mozuno, Yukoh Ohara, Yoshiyuki Tomita, Hidenori Matsuoka
 Shinyurigaoka General Hospital

B3-41 The clinical results of the transforaminal percutaneous endoscopic lumbar discectomy with electromyogram under general anesthesia

Yoshihiro Kitahama

Omaezaki Municipal Hospital Spine Center

B3-42 A comparative study of the short-term clinical results between Microendoscopy-assisted MILD and spinal process splitting laminectomy

Ryunosuke Fukushi, Mitsunori Yoshimoto, Kosuke Takimura, Masanobu Kano

Yoshinori Terashima, Tsuneo Takebayashi, Toshihiko Yamashita

Dept. of Orthop. Surg., Sapporo Medical Univ

B3-43 Comparisons between extraforaminal approach and contralateral approach to lumbar foraminal disc herniations

Ki-Chang Lee, Se-Young Pyo, Seong-Min Kim, Yong-Tae Jung

Neurosurgery department, Busan Paik Hospital, Inje University

B3-44 Spinal Lumbar Surgery Cases in Cipto Mangunkusumo National Hospital, University Hospital of Universitas Indonesia, Jakarta from 2010 until 2016

Kemas Muhammad Abdoe Halim Habibi¹⁾, Mohammad Saekhu²⁾, Renindra Ananda Aman³⁾
Affan Priyambodo⁴⁾, Samsul Ashari⁵⁾

¹⁾ Department of Neurosurgery Faculty of Medicine, University of Indonesia Cipto Mangunkusumo National General Hospital Jakarta, Indonesia

²⁾ Consultant, Division of Spinal, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia

³⁾ Consultant, Division of Oncology, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia

⁴⁾ Consultant, Divisin of Spinal, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia

⁵⁾ Head of Department, Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine University of Indonesia

B3-45 Diagnostic Values of ProSet Magnetic Resonance Coronal Source Imaging for Detecting Symptomatic Lesion in Multiple Lumbar Foraminal Stenosis

So Hee Park, Ikchan Jeon, Sang Woo Kim
Neurosurgery department, Yeungnam University Hospital, South Korea

B3-46 Contralateral approach for the treatment of lumbar spinal stenosis combined with foraminal disc herniation

Seyoung Pyo, Seongmin Kim, Kichang Lee, Yongtae Jung
Neurosurgery department, Busan Paik Hospital, Inje University

8:00-8:35

Scientific session 37

Spinal injury

Chairmen : Krishna Sharma (Nepal Medical College, Kathmandu)
Shinsuke Suzuki (Sendai Medical Center)

C3-1 Characteristics and treatment results of elderly patients with craniovertebral junction injury

Gakuji Gondo, Tsuyoshi Watanabe, Masahiko Tanaka, Kazuaki Yamamoto, Satoshi Tanaka
Naoyuki Noda
Shonan-Kamakura General Hospital

C3-2 Recent clinical features and surgical treatment for acute cervical spinal cord injury without bony injuries

Genki Uemori, Izumi Koyanagi, Yasuhiro Chiba, Takahiro Sasaki, Hiroyuki Imamura
Masami Yoshino, Shogo Endo, Takeshi Aoki, Toshimitsu Aida
Hokkaido Neurosurgical Memorial Hospital

C3-3 Three surgical cases of cervical spine injuries treated via anterior cervical approach

Rinsei Tei, Taiji Yonezawa, Shuuta Aketa, Yasushi Shin, Toshitaka Inui, Masahiro Kishi
Miho Kakutani, Yuudai Morisaki, Takanori Furuta, Hiromitsu Sasaki
Department of Neurosurgery, Osaka Police Hospital

C3-4 Timing of surgical treatment for cervical spinal cord injury without bone injury

Kinya Nakanishi¹⁾, Akira Watanabe¹⁾, Kazuo Kataoka¹⁾, Yoshifumi Teramoto²⁾, Haruki Yugami²⁾
Kimito Yamada²⁾, Tomonari Yabuuchi²⁾, Kazuhiro Nagatsuka²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, kindai University Nara Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, Yuaikai Hospital

C3-5 Analysis of spinal fracture in cases of traumatic intracranial hemorrhage

Masatoshi Yunoki, Takahiro Kanda, Kenta Suzuki, Koji Hirashita, Kimihiro Yoshino
Department of Neurosurgery, Kagawa Rosai Hospital

8:35-9:35

Scientific session 38

Mimally invasive surgery

Chairmen : Se Hoon Kim (Ansan Hospital)
Yasuhiko Nishimura (Wakayama KOYO Hospital)

C3-6 The efficacy of percutaneous endoscopic discectomy for far lateral lumbar disc herniation

Yoshiyuki Tomita, Yukon Ohara, Hidenori Matsuoka, Nahoko Kikuchi, Junichi Mizuno
Shin-yurigaoka General Hospital, Department of Neurosurgery

- C3-7 Complications associated with spinal endoscopic surgery**
- correlations with the learning curve -
 YASUHIKO NISHIMURA¹⁾, AKI SHINTANI¹⁾, KENJI KUBO¹⁾, JYUNICHI MIZUNO²⁾
¹⁾Spinal surgery centre, Department of Neurosurgery, Wakayama KOYO Hospital, Japan
²⁾Less invasive spinal surgery centre, Shinyurigaoka general hospital, Japan

- C3-8 Short-term results of percutaneous endoscopic lumbar discectomy**
 Gohsuke Hattori¹⁾, Masafumi Yamamoto¹⁾, Takahiro Miyahara²⁾, Hisaaki Uchikado³⁾
 Motohiro Morioka¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kurume University School of Medicine, ²⁾Yame General Hospital
³⁾Uchikado Neuro-spine Clinic

- C3-9 Percutaneous endoscopic lumbar discectomy for the ossificated lesion at ventral of theca**
 Yukoh Ohara, Yosiyuki Tomita, Naoko Kikuti, Hidenori Matsuoka, Junichi Mizuno
 Shin-yurigaoka general hospital Department of spinal surgery

- C3-10 How is a universally known approach used to familiarize minimally invasive spinal surgery in Japan?**
 Hisashi KOGA¹⁾, Junichi MIZUNO²⁾, Yasuhiko NISHIMURA³⁾, Hirohiko INANAMI⁴⁾
¹⁾Iwai Orthopaedic Medical Hospital
²⁾Center for Minimally Invasive Spinal Surgery, Shin-Yurigaoka General Hospital
³⁾Department of Neurological Surgery, Koyo Hospital, ⁴⁾Inanami Spine and Joint Hospital

- C3-11 Dura injuries during biportal endoscopic spine surgery**
 Han-Jin Jang, Yong-Sang Kim, Dea-Jung Choi, Bang Ryu, Je-Tea Jung
 Barun hospital, Jin-ju, Korea. the spine center

- C3-12 Percutaneous endoscopic foraminal decompression for persistent radiculopathic leg pain for foraminal stenosis with multiple vertebral compression fracture**
 Chang il Ju Chang il Ju, Seok Won Kim, Hee Sun Wang, Seung Myung Lee, Jong Hoon Seo
 Department of Neurosurgery, Chosun University Hospital, Korea

- C3-13 Surgical experience of decompression for thoracic myelopathy caused by ossification of ligamentum flavum using Biportal endoscopy.**
 Yong-Sang Kim
 Department of neurosurgery spine, BARUN Hospital

9:35-10:25	Scientific session 39
Infection	Chairmen : Daewon Joh (Cheonan Woori Hospital) Masato Noji (Kanagawa Prefectural Ashigarakami Hospital)

- C3-14 Pathology and treatment of spinal adhesive arachnoiditis**
 Motoo Kubota, Masahito Yuzurihara, Kento Takebayashi, Yuki Takano, Kazunori Kihara
 Shigekuni Tachibana
 Department of Spinal Surgery, Kameda Medical Center

- C3-15 Therapeutic strategy for vertebral osteomyelitis, discitis and psoas abscess**
Masanori Aoki¹⁾, Manabu Sasaki²⁾, Tuyoshi Suzuki¹⁾, Motohiko Maruno¹⁾, Haruhiko Kishima³⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Yukioka Hospital, ²⁾Department of Neurosurgery, Iseikai Hospital
³⁾Department of Neurosurgery, Osaka University Graduate School of Medicine
- C3-16 A success case of oblique lumbar interbody fusion and posterior titanium screw fixation for recurrent thoracolumbar pyogenic spondylodiscitis with instability**
Hitoshi Hayase¹⁾, Hiroshi Nakagawa¹⁾, Takahisa Kaneko²⁾, Toshiyuki Okazaki¹⁾, Kotaro Takazawa³⁾
Koji Saito¹⁾
¹⁾Social Medical Corporation, Kojinkai, Kushiro Kojinkai Memorial Hospital, Department of Neurosurgery
²⁾Social Medical Corporation, Kojinkai, Hokkaido Ohno Memorial Hospital, Department of Orthopedic Surgery
³⁾Social Medical Corporation, Kojinkai, Kushiro Kojinkai Memorial Hospital, Department of Orthopedic Surgery
- C3-17 The effect of vancomycin powder during surgery for the prevention of surgical site infection**
Yuki Takano, Motoo Kubota, Kento Takebayashi, Kazunori Kihara, Masahito Yuzurihara
Shigekuni Tachibana
Kameda General Hospital, the department of Spine Surgery
- C3-18 A case of spinal osteomyelitis due to mycobacterium intracellulare with pulmonary mycobacterium avium complex**
Shigeharu Fukao, Minoru Kidooka, Takahiro Isozumi, Hidehiko Lee, Sayaka Ito
Kyoto okamoto memorial hospital
- C3-19 Toxocariasis masquerading as spinal cord ependymoma: case report**
Hyojun Jeong, Young Seop Song, Yong Hun Pi, Il Tae Jang
Department of Rehabilitation Medicine, Nanoori Hospital, Korea
- C3-20 Variation of CRP and WBC counts in lumbar spinal fusion ; first surgery versus revision surgery**
Chi Hyung Lee, Geun Sung Song, Geon Sang Lee, O Ik Kwon, Jong Uk Hwang, Su Hun Lee
Dong Ha Kim, Jun Seok Lee, Dong Wuk Son, Sang Weon Lee
Department of Neurosurgery, Pusan National University Yangsan Hospital, Korea

13:25-14:15**Scientific session 40****Spinal vascular lesions 2**Chairmen : Chun Kee Chung (Seoul National University Hospital)
Minoru Hoshimaru (Shin-aikai Spine Center)

- C3-21 The utility of intraoperative image guidance in the direct surgery of spinal AVM or AVF**
Toshihiro Takami¹⁾, Kentaro Naito¹⁾, Toru Yamagata²⁾, Kenji Ohata¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan
²⁾Department of Neurosurgery, Osaka City General Hospital, Japan

- C3-22 Microsurgical and endovascular treatments of spinal extradural arteriovenous fistulas**
 Keisuke Takai¹⁾, Shojima Masaaki²⁾, Hideaki Imai²⁾, Nobuhito Saito²⁾, Makoto Taniguchi¹⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital
²⁾Department of Neurosurgery, The University of Tokyo Hospital
- C3-23 Clinical characteristics of lumbosacral spinal dural arteriovenous fistula, comparison to thoracic lesions**
 Toshiki Endo¹⁾, Takumi Kajitani²⁾, Tomoo Inoue²⁾, Kuniyasu Niizuma²⁾, Kenichi Sato³⁾
 Hidenori Endo¹⁾, Teiji Tominaga²⁾
¹⁾Department of Neurosurgery, Kohnan hospital, ²⁾Tohoku University, Department of Neurosurgery
³⁾Department of Neuroendovascular Therapy, Kohnan Hospital
- C3-24 Cervical spine epidural hematoma distinguished from cardiovascular diseases : four case reports**
 Hiroshi Kageyama, Shingo Yamashita, Nobusuke Tsuzuki
 Dept. of Neurosurgery, Shin-Kuki General Hospital
- C3-25 Operative therapy of spontaneous cervical epidural hematoma**
 Akihiro Miyasaki, Muneyoshi Yasuda, Mikiko Funai, Keisuke Itou, Noburou Shirasaka
 Makoto Negoro
 Ichinomiyanishi Hospital Neurosurgery department
- C3-26 Treatment of spinal epidural hematoma - an examination of the experiments -**
 Hiroshi Inagaki, Masato Noji, Satoshi Endo, Katsuhiko Hara, Satoshi Tanaka, Gakuji Gondo
 Department of Neurosurgery, Ashigarakami Kanagawa Prefectural Hospital
- C3-27 Surgical treatment of neurovascular compression syndrome by the vertebral artery anomaly**
 Noriaki Nagao, Toshihiko Inui, Tomohide Hoshi, Masaaki Furube, Kou Mathuda, Yoshiko Tominaga
 Keishou Yamazato, Hiroshi Hasegawa, Masahiko Kitano, Shinsuke Tominaga
 Tominaga Hospital, Department of Neurosurgery

Sponsored joint seminar

Sponsored joint seminar program

Jun. 8 (Thu.) 1st Day

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 1 *Japanese session	Room A
	Chairman : Junichi Mizuno (Shin-Yurigaoka General Hospital)	
	Sponsored by HOYA Technosurgical / Ammtec	

LS1-1 Laminoplasty Basket-Characteristics and tips for surgery-

Satoshi Tani

Department of neurosuregery, Jikei University School of Medicine

LS1-2 Clinical characteristics and biomechanical data of Laminoplasty Basket

Junichi Mizuno

Center for Minimally Invasive SpinalSurgery, Shin-Yurigaoka General Hospital

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 2 *Japanese session	Room B
	Chairman : Nobuyuki Shimokawa (Tsukazaki Hospital)	
	Sponsored by Medtronic Japan / Medtronic Sofamor Danek	

LS2 Spinal Navigation surgery; Past and Future

Yukoh Ohara

Department of Spine, Spinal cord and peripheral nerve surgery, Shin-yurigaoka general hospital

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 3 *Japanese session	Room C
	Chairman : Shigeo Ueda (Shin-aikai Spine Center)	
	Sponsored by Stryker Japan	

LS3 Technical tips for proper bone resection in posterior lumbar surgeries

Manabu Sasaki

Department of Neurosurgery and Spine Surgery, Iseikai Hospital

17:30 ~ 18:30	Evening seminar 1 *Japanese session	Room A
	Chairman : Junichi Mizuno (Shin-Yurigaoka General Hospital)	
	Sponsored by NuVasive Japan K.K.	

ES1 Safe and Secure Lateral Approach Surgery; Importance of Understanding Anatomy in the Retroperitoneum

Tokumi Kanemura

Department of Orthopaedic Surgery and Spine Center, Konan Kosei Hospital

Jun. 9 (Fri.) 2nd Day

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 4	Room A
Chairman : Masakazu Takayasu (Aichi Medical University)		
Sponsored by ZIMMER BIOMET		

LS4 Cervical Disc Replacement: Latest Update On Clinical Results

Jacques BEAURAIN

University Hospital, Neuro-Surgery Department, Dijon, FRANCE.

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 5 *Japanese session	Room B
Chairman : Youichi Saitoh (Osaka University Medical School)		
Sponsored by Nippon Zoki Pharmaceutical		

LS5 Pain related with spine and spinal cord diseases and their pharmacotherapy

Masahiko Sumitani

Department of Pain and Palliative Medicine/Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital

11:50 ~ 12:50	Luncheon seminar 6	Room C
Chairman : Hiroyuki Nakase (Nara Medical University)		
Sponsored by Baxter		

**LS6 Complication avoidance in the surgery of spinal vascular lesions or tumors:
Meticulous nonbleeding surgery is one of the keys to success.**

Toshihiro Takami

Department of Neurosurgery, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan

17:20 ~ 18:20	Evening seminar 2	Room A
Chairman : Yasuhiko Nishimura (Wakayama KOYO Hospital)		
Sponsored by elliquence-Japan / NAKANISHI/ WINNOVA JAPAN		

ES2 Percutaneous Endoscopic Thoracic Discectomy for Herniated disc, a technical note

Gun Choi

Wooridul Hospital, Pohang, Korea

17:20 ~ 18:20	Evening seminar 3	Room B
Chairman : Keisuke Takai (Tokyo Metropolitan Neurological Hospital)		

ES3-1 Angiographical and clinical characteristics of spinal epidural and dural arteriovenous fistulas of the thoracolumbar spine

Hiro Kiyosue

Department of Radiology, Oita University Hospital, Oita, Japan,

ES3-2 Endovascular treatment for dural and epidural arteriovenous shunts in thoracolumbar spine

Yuji Matsumaru

University of Tsukuba, Department of Neurosurgery, Division for stroke prevention and treatment

Jun. 10 (Sat.) 3rd Day

12:05 ~ 13:05	Luncheon seminar 7	Room A
Chairman : Misao Nishikawa (Moriguchi-Ikuno Memorial Hospital)		

LS7 Chiari malformation I: Is it a Nature' s protective 'air-bag' ?
 Atul Goel
 Department of Neurosurgery, Seth G.S. Medical College and K.E.M Hospital, Parel, Mumbai

12:05 ~ 13:05	Luncheon seminar 8	Room B
Chairman : Nobuyuki Shimokawa (Tsukazaki Hospital)		

LS8-1 Comparison of cervical total disc replacement (TDR) and anterior cervical decompression & fusion (ACDF) in single-level disc radiculopathy
 Kyoung-Suok Cho, Sang-Bok Lee
 Dept. of Neurosurgery, Uijeongbu St. Mary' s Hospital The Catholic Univ. of Korea College of Medicine

LS8-2 Treatment of lumbar spondylolysis
 Ming-Chao Huang
 Department of Neurosurgery, Neurological Institute, Taipei Veterans General Hospital, Taipei, Taiwan